

野沢館跡  
薬師寺遺跡

YAKUSHIJI  
長野県佐久市大字原字屋敷  
薬師寺遺跡発掘調査報告書

2000.3

宗教法人 薬師寺  
長野県佐久市教育委員会

野沢館跡  
薬師寺遺跡

YAKUSHIJI  
長野県佐久市大字原字屋敷  
薬師寺遺跡発掘調査報告書

2000.3

宗教法人 薬師寺  
長野県佐久市教育委員会



薬師寺本堂縁石全体写真（南より）



垂飾



釜金具



垂飾



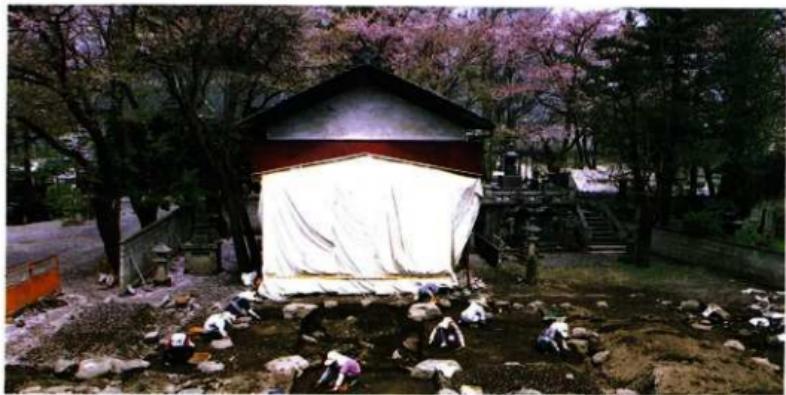
垂飾



垂飾



豆板鏡



調査区全景

## 例 言

- 1 本書は、平成11年に調査した長野県佐久市大字原字屋敷に所在する野沢館跡薬師寺遺跡の調査報告書である。

遺跡名 野沢館跡 薬師寺遺跡  
所在地 長野県佐久市大字原字屋敷467  
調査面積 1399.15m<sup>2</sup>  
開発主体者 宗教法人 薬師寺  
開発事業名 本堂改築工事

- 2 本調査は、宗教法人薬師寺の委託を受けた佐久市教育委員会が実施した。
- 3 本調査は、羽毛田卓也を担当者とし、地元の皆様をはじめ多数の方の協力を得て実施した。
- 4 本遺跡に関するすべての資料は、佐久市教育委員会の責任下に保管されている。
- 5 本書の執筆・編集は、羽毛田卓也が担当した。

## 凡 例

- 1 遺跡の略称 HYY
- 2 遺構・遺物の縮尺は図中にスケールを付したので参照されたい。
- 3 表中の番号（例12-3）は押図番号（例第12図3番）と対応する。
- 4 遺物の番号は古錢・金属製品・陶磁器等・その他の遺物について各々の通し番号である。写真図版中の遺物番号はそれと対応する。
- 5 土層説明中の土色は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・（財）日本色彩研究所色票監修1987年度版『新版標準土色帖』の表示に基づいた。
- 6 写真図版中の遺物の縮尺はその都度明記し、明記のないものは任意の縮尺である。
- 7 表中の出土位置で、いー5GrのGrはグリッドの略である。

# 目 次

例言

凡例

目次

|              |    |
|--------------|----|
| 第Ⅰ章 発掘調査の経緯  | 1  |
| 1 調査に至る動機    | 1  |
| 2 調査の概要      | 3  |
| 3 調査の体制      | 3  |
| 4 調査日誌       | 4  |
| 第Ⅱ章 遺跡の位置と環境 | 4  |
| 1 遺跡の自然的環境   | 4  |
| 2 遺跡の歴史的環境   | 5  |
| 第Ⅲ章 遺構と遺物    | 9  |
| 1 調査の方法      | 9  |
| 2 本堂の調査      | 11 |
| 3 構築土の調査     | 13 |
| 1) 第1層       | 16 |
| 2) 第2・3・5・6層 | 18 |
| 3) 第4層       | 18 |
| 4) 第7・8層     | 18 |
| 5) 第9・10層    | 18 |
| 第Ⅳ章 まとめ      | 49 |
| 菜師寺の変遷       | 49 |
| 調査の成果        | 50 |
| 写真図版         | 51 |

第Ⅰ章 発掘調査の経緯

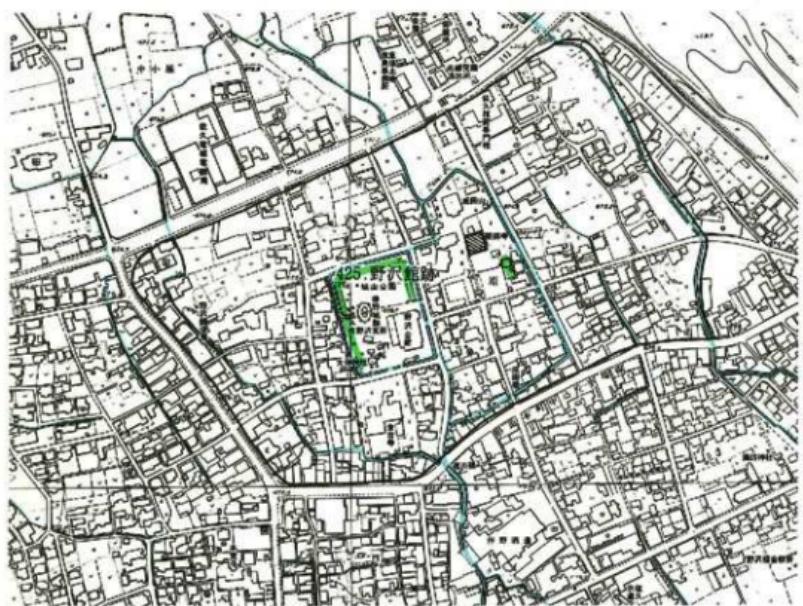
## 1 調査に至る動機

野沢館跡は、佐久市大字野沢・原に所在し、千曲川西側に広がる低段丘上標高675m内外に展開する平安時代末期から中世の居館跡である。本館跡は平成3年に試掘調査され、中世の土坑・柱穴跡・石組遺構などが検出されている。今回調査した菱師寺遺跡は、本館跡の中央東端の標高674m内外を測る千曲川により形成された低段丘東端に位置する。

今回、宗教法人薬師寺が行う本堂改築工事に伴い、宗教法人薬師寺と佐久市教育委員会とで協議の結果、試掘調査により遺構の確認作業を行うこととなった。試掘調査により対象地全体に中世から近世にかけての遺構や遺物包含層が広がっていることが判明し、再度両者で協議を行った。その結果、基礎工事により破壊される0.8mまでを宗教法人薬師寺より委託を受けた佐久市教育委員会が主体となって発掘調査し、それ以下については保全する運びとなった。



第1図 野沢館跡・萬師寺遺跡位置図 (1:50,000)



第2図 野沢館跡墓師寺遺跡位置図（1:5,000）赤水色は現在の水路・緑色は現存する土塁



第3圖 調査地周辺地籍図・調査区設定位置図（1:1,000）

## 2 調査の概要

### 平成10年度 試掘調査

対象面積 1399.15m<sup>2</sup>  
調査期間 平成11年2月17日～3月2日  
検出遺構 中世の遺物包含層・近世の寺院跡など

### 平成11年度 本調査

調査面積 1400m<sup>2</sup>  
調査期間 平成11年4月1日から平成11年4月30日  
調査遺構 中世の遺物包含層 1ヶ所  
近世の礎石 143基  
近世の基段 1ヶ所  
基壇構築層 7面

### 平成11年度 整理調査

平成11年4月1日から平成12年3月31日

## 3 調査の体制

### 事務局（平成10年度）

教育長 依田 英夫  
教育次長 北澤 騰  
埋蔵文化財課長 須江 仁胤  
埋蔵文化財係長 萩原 一馬  
埋蔵文化財係 林 幸彦、三石 宗一、須藤 隆司、小林 真寿、羽毛田卓也  
富沢 一明、上原 学  
調査主任 佐々木宗昭、森泉かよ子

### 佐久市教育委員会埋蔵文化財課

教育長 依田 英夫  
教育次長 小林 宏造  
文化財課長 草間 芳行  
文化財係長 萩原 一馬  
文化財係 林 幸彦、須藤 隆司、小林 真寿、羽毛田卓也、富沢 一明  
上原 学、山本 秀典、出澤 力  
調査主任 佐々木宗昭、森泉かよ子

### 調査員（平成10・11年度）

浅沼ノブ江、荒井 利男、石川 横子、碓氷 知子、梅澤 淳子、遠藤しづか、柏木 義男  
小山 澄恵、佐々木 正、佐々木久子、清水佐知子、副島 充子、田中 章雄、樋田 咲枝  
中島とも子、中嶋フクジ、成澤 富子、橋詰けさよ、花岡美津子、花里香代子、林 幸男  
比田井久美子、平林 泰、細萱ミスズ、山浦 豊子、山村 容子、依田 みち、渡辺久美子

## 4 調査日誌

平成11年4月1日

現地打合わせ 標高基準杭設置打ち合わせ

平成11年4月1日～

機器材の搬入開始

平成11年4月5日～

調査開始 表土除去作業

平成11年4月8日～

土層断面図実測作業開始

平成11年4月12日～

平面図実測作業開始 遺構写真撮影開始

平成11年4月28日～30日

全体地形測量 全体写真撮影 機器材の搬出

平成11年4月1日～平成12年3月31日

土器・石器等水洗いおよび遺物の注記 実測図面の修正 遺構第2原図作成

土器の復元。石器・土器の実測 遺物図面の修正 遺物第2原図作成

遺構・遺物のトレース 版下作成 遺物の写真撮影

本文の原稿執筆および編集作業 校正

## 第Ⅱ章 遺跡の位置と環境

### 1 遺跡の自然的環境

佐久平は、北に浅間山を主とする三国山脈の南端峰群、東から南に関東山地から連なる山々である佐久山地、西から南に八ヶ岳連峰と、四方を山々に囲まれた盆地で、長野県の中央東端に位置する。佐久平原域の標高は約600mから1000mを測り、佐久市はこの佐久平のほぼ中央に位置し、平坦部の標高は620mから770mを測る。また北側で軽井沢町・御代田町・小諸市と、西側で浅科村・<sup>あさしな</sup>望月町と、南側で茅野市・佐久町・白田町と、東側で群馬県下仁田町・南牧村と接している。

佐久市の中央部を佐久地方南端の甲武信ヶ岳に源を発する千曲川が北進し、浅間山に源を発する湯川・濁川、佐久山地に源を発する霞川・香坂川・志賀川・滑津川・田子川・瀬早川・八重久保川、八ヶ岳に源を発する石突川・片貝川・大沢川・中沢川・小宮山川・倉沢川・宮川などの小河川がそれに向かって集まり、大小の扇状地や河岸段丘を形成している。佐久山地の八風山や寄石山・物見山・兜岩山・熊倉峰・荒船山は、石英安山岩類や溶結凝灰岩類・ガラス質の荒船安山岩類により形成されている。これらの山の基盤には第三紀層・中生層や古生層が広がっているとされている。化石を産出することで知られる内山の初谷層(白亜紀)は中生層で内山層(漸新世末～中新世初頭)は第三紀層である。また志賀の兜岩層(淡水湖底堆積層)・駒込層(グリーンタフ)・八重久保層は第三紀層である。

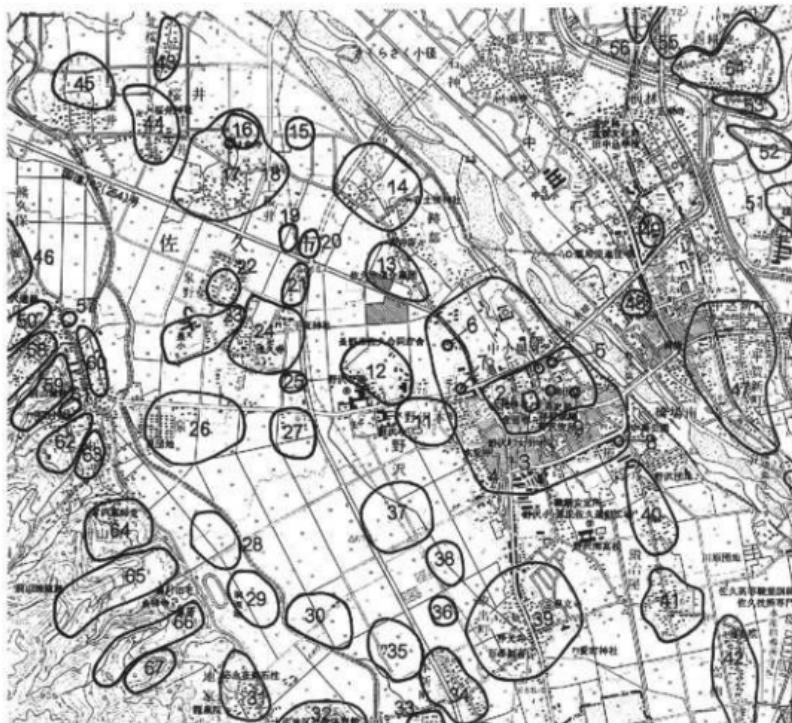
佐久平の北側は、浅間山第1軽石流の火山噴出物によって厚く覆われ、雄大な山麓を形成している。一方南側は、断層に沿って北進する千曲川により形成された段丘と帶状低地の交互地形が形されている。浅間山

は、野沢館が戦乱に巻き込まれていた16世紀に度々噴火を繰り返している。1518年・1527年・1528年・1532年・1590年・1591年と中小規模噴火を繰り返し、1596年4月に大噴火を起こし死者多数を出してい る。さらに同年7月に再び大噴火を起こした後沈静化している。今回調査した薬師寺遺跡は、佐久市南側・千曲川西側の第2段丘上に展開している。

## 2 遺跡の歴史的環境

今回調査した野沢館跡薬師寺遺跡の周辺には、弥生時代から中世にかけての遺跡や遺跡群が点在している。

本遺跡と関係の深い中世遺跡は前山城（第4図59番）と荒山城（4-32）・荒城（4-67）で、前山城は野沢館を築いたとされる小笠原（伴野）時長の子で跡部にいた伴野長朝が築城・居住したとされている。また荒山城と荒城は武田信玄の佐久侵攻に備え、長朝の末裔である伴野貞祥・貞らが1500年代始め（永正年間）に、前山城の支城として築いたと考えられる。他周辺の各遺跡および時代等の詳細は第4図と第1表を参照されたい。



第4図 周辺道路分布図(1:25,000)

第1表 周辺遺跡一覧表

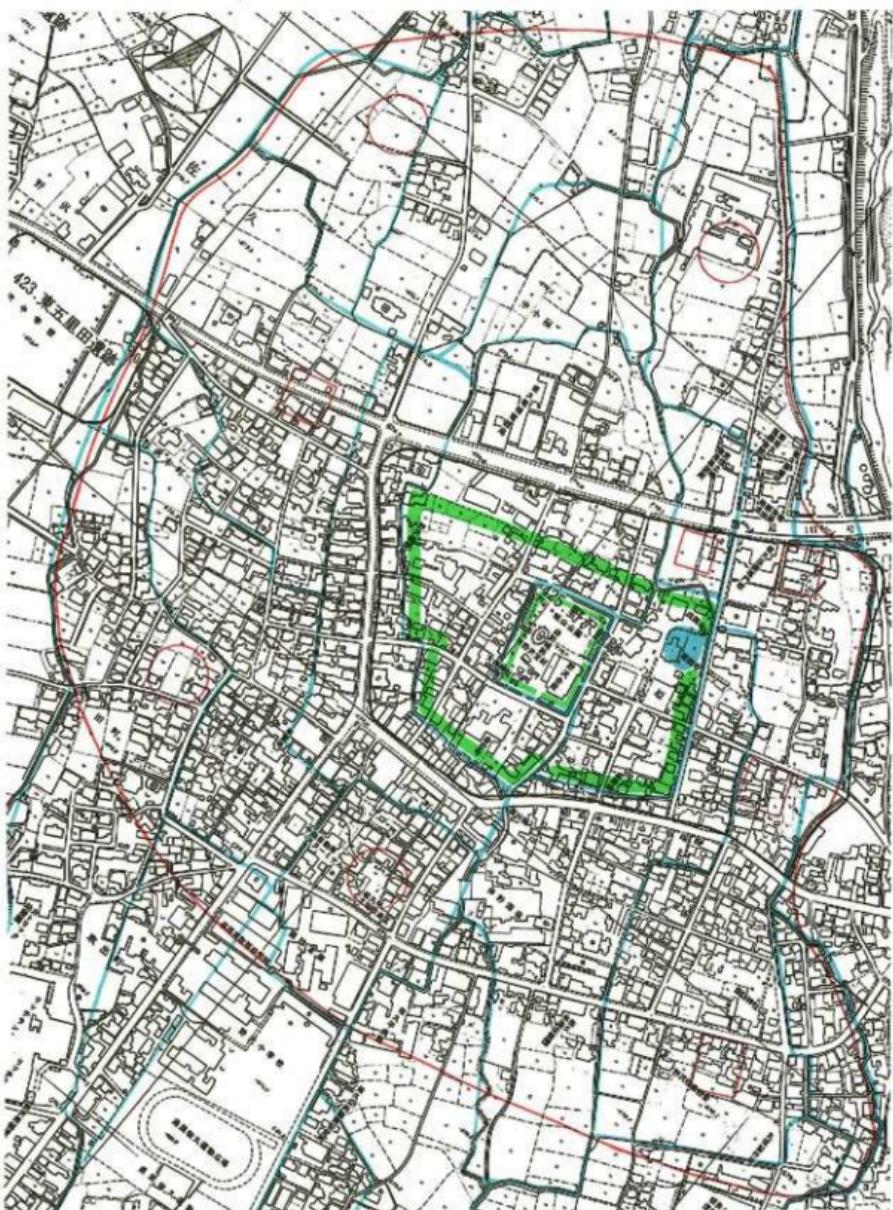
| No. | 遺跡名          | 時代          | 所在地    | 備考                         |
|-----|--------------|-------------|--------|----------------------------|
| 1   | 薬師寺遺跡        | 中世・近世       | 原      | 今回調査                       |
| 2   | 野沢館跡         | 平安～中世       | 野沢・原   |                            |
| 3   | 野沢館主郭        | 平安～中世       | 野沢     |                            |
| 4   | 野沢城跡         | 中世          | 野沢・原   |                            |
| 5   | 薬師寺跡         | 中世～近世       | 原      |                            |
| 6   | 古薬師寺跡        | 中世          | 野沢     |                            |
| 7   | 大道寺跡         | 中世          | 野沢     |                            |
| 8   | 地藏院跡         | 中世          | 原      |                            |
| 9   | 西光寺跡         | 中世          | 原      |                            |
| 10  | 八幡宮跡         | 中世          | 原      |                            |
| 11  | 東五里田遺跡       | 平安          | 野沢     |                            |
| 12  | 長明塚遺跡        | 古墳～奈良       | 野沢     | 野沢遺跡(S 62)                 |
| 13  | 金山遺跡         | 古墳～平安       | 跡部     |                            |
| 14  | 跡部儘田遺跡群      | 古墳～平安       | 跡部     | 跡部儘田遺跡(H 11)               |
| 15  | 上桜井北遺跡       | 古墳～平安       | 桜井     | 上桜井北遺跡(S 52)               |
| 16  | 泉屋敷跡         | 中世          | 桜井     |                            |
| 17  | 平馬塚古墳        | 古墳          | 桜井     |                            |
| 18  | 平馬塚遺跡群       | 縄文・古墳～平安    | 桜井     |                            |
| 19  | 三塚町田遺跡       | 古墳          | 三塚     | 三塚町田遺跡(S 49)               |
| 20  | 跡部町田遺跡       | 古墳          | 跡部     | 跡部町田遺跡(S 50)               |
| 21  | 市道遺跡         | 古墳～平安       | 三塚     | 市道遺跡(S 49)、市道遺跡Ⅱ(H 10)     |
| 22  | 三塚鶴田遺跡       | 平安          | 三塚     | 三塚鶴田遺跡(S 50)               |
| 23  | 一町田遺跡        | 縄文～平安       | 三塚     | 泉小学校敷地遺跡(S 40)             |
| 24  | 三千束遺跡群       | 古墳～平安       | 三塚     | 寺添遺跡(H 6)、宮添遺跡(H 11)       |
| 25  | 三塚三塚遺跡       | 平安          | 野沢     | 三塚三塚遺跡(S 49)               |
| 26  | 中道遺跡         | 弥生・奈良～平安    | 前山     | 中道遺跡(S 46)、中道遺跡Ⅱ・Ⅲ(H 9・11) |
| 27  | 辻遺跡          | 平安          | 野沢     |                            |
| 28  | 大門下遺跡        | 弥生～平安       | 前山     |                            |
| 29  | 大堀遺跡         | 縄文          | 前山     |                            |
| 30  | 御岳遺跡         | 古墳          | 大沢     |                            |
| 31  | 地家遺跡         | 縄文～中世       | 大沢     |                            |
| 32  | 城山遺跡<br>荒山城跡 | 縄文～中世<br>中世 | 大沢     |                            |
| 33  | 下町屋遺跡        | 平安～中世       | 大沢     |                            |
| 34  | 西浦遺跡群        | 縄文・古墳～平安    | 本新町    |                            |
| 35  | 前田遺跡         | 古墳          | 本新町・大沢 |                            |
| 36  | 高畠遺跡         | 古墳          | 本新町    |                            |
| 37  | 儘田遺跡         | 古墳～平安       | 野沢     |                            |
| 38  | 伊勢道遺跡        | 奈良～平安       | 取出     |                            |
| 39  | 白拍子遺跡群       | 奈良～平安       | 取出     |                            |
| 40  | 社宮司遺跡        | 弥生・奈良～平安    | 原      |                            |
| 41  | 向畑遺跡         | 平安          | 鐵冶屋    |                            |
| 42  | 前掘遺跡         | 古墳          | 高柳     |                            |
| 43  | 上北谷遺跡群       | 弥生～平安       | 桜井     |                            |
| 44  | 宮浦遺跡群        | 古墳          | 瀬戸     |                            |

|    |         |       |     |                          |
|----|---------|-------|-----|--------------------------|
| 45 | 北畠遺跡群   | 弥生～平安 | 瀬戸  |                          |
| 46 | 後沢遺跡    | 縄文～平安 | 小宮山 | 後沢遺跡(S51・52)             |
| 47 | 新町遺跡    | 奈良・平安 | 中込  |                          |
| 48 | 越上遺跡    | 平安    | 中込  |                          |
| 49 | 鎮守宮遺跡   | 平安    | 中込  |                          |
| 50 | 上の山遺跡   | 縄文    | 小宮山 |                          |
| 51 | 樺村遺跡群   | 弥生～平安 | 平賀  | 樺村遺跡(S57・58)             |
| 52 | 上の台遺跡   | 弥生    | 平賀  | 上の台遺跡(S57)               |
| 53 | 西屋敷添遺跡  | 平安    | 瀬戸  |                          |
| 54 | 東千石平遺跡群 | 古墳～中世 | 瀬戸  | 東千石平遺跡(H11)              |
| 55 | 深堀遺跡群   | 弥生～中世 | 瀬戸  | 深堀遺跡(S40)、瀬戸原遺跡群(H10・11) |
| 56 | 深堀城跡    | 中世    | 中込  |                          |
| 57 | 小宮山砦    | 中世    | 小宮山 |                          |
| 58 | 西の張遺跡   | 縄文～古墳 | 小宮山 |                          |
| 59 | 前山城跡    | 中世    | 小宮山 |                          |
| 60 | 町の後遺跡   | 平安・中世 | 前山  |                          |
| 61 | 居屋敷遺跡   | 平安    | 前山  |                          |
| 62 | 滝の下遺跡   | 縄文    | 前山  | 滝の下遺跡(H8)                |
| 63 | 象ヶ岡遺跡   | 縄文・平安 | 前山  |                          |
| 64 | 倉沢遺跡    | 平安    | 前山  |                          |
| 65 | 尾垂遺跡    | 縄文～平安 | 前山  |                          |
| 66 | 洞源遺跡    | 縄文～平安 | 前山  |                          |
| 67 | 荒城跡     | 中世    | 前山  |                          |

野沢館跡は佐久市大字野沢・原に所在する中世の居館址で、昭和40年4月30日に『伴野城跡』として長野県史跡として指定されている。この野沢館と薬師寺の変遷を追ってみたい

木曾義仲滅亡後、義仲の家臣団を形成していた信濃武士団を追討する意味合いから、源頼朝は有力御家人であった甲斐源氏の加々美遠光を1185年(文治元年)に信濃国司として、比企能員を目代として任命した。さらに衰退した義仲佐久党が支配していた佐久には、遠光の子で甲斐の小笠原で勢力を張っていた小笠原長清を地頭職として任命した。その後伴野荘を長清の子六郎時長が、大井荘を七郎朝光が知行していく。時長・朝光とともに伝頼地より伴野時長・大井朝光と名乗る。野沢館の前身は平安時代末期に野沢地区で活躍した野沢氏が居住した長方形館と考えられる。その館を基に地頭職にあった長清・時長・時直父子孫により城郭として整備されたものと考えられる。時直の子長泰の時、霜月騒動(1285年)が起り、長泰と弟泰直・長子盛時と次男長直は殺され、伴野氏は一時衰退し、伴野荘は一部を除き北条一族の知行地となる。その後建武年間(1334～7年)に長泰の孫長房が伴野荘地頭職として再び登場し、長信・貞棟と続き、その後100年間伴野氏の居館として繁栄する。館は1540年に武田信虎の佐久侵攻に伴い落城した。そして1583年依田信蕃の佐久侵攻に伴う戦いで落城後廃城となるまで、武田晴信と佐久武士団との戦いの中で廃城と再建を繰り返したと考えられる。近世初頭には仙石氏により官倉が建てられ、江戸中期には陣屋が建てられている。今回の調査地点の薬師寺本堂は、野沢館外郭の北東部に位置する。

薬師寺は奈良時代より続く寺院が、平安時代末期の1150年(久安6年)に現在の佐久漁協南側小字跡部前(第5図参照)の地に再建されたと伝わっている。佐久市内の真言宗の寺院が平安時代末に滋野系一族の活躍した地に創建されていることから、時代的には大きな間違いはないと考えられる。その後薬師寺の末寺される西光寺(西光寺として地名が残存)・大東寺(大道寺として地名が残存)・地蔵院(地蔵堂として地名が残存)・常福院・延命院・真蔵院が創建され、7堂伽藍を誇る規模の大きな寺院であったと伝わっている。この7堂が地名・地形などから鑑み、野沢館の外郭を取り巻くように配置されていたと推定される。創建と再



第6図 野沢城(野沢館)水路・堀・土塁等推定図 (1:5,000)

建に關係したのは、野沢氏や阿刀部氏と考えられるが、7堂伽藍として再興したのは、時代背景や末寺6堂と主郭・外郭との位置關係などを鑑みると、当時伴野莊に地頭職として就いていた小笠原長清・伴野時長父子と考えられる。さらに1281年（弘安4年）佐久地方唯一の時宗寺院である金台寺（伴野道場）が、館の南方に創建された。現在の金台寺は江戸時代に南より移動してきたものである。武藏国聖天社の永禄6年（1563年）の金戲（伴野信是寄進）に野沢郷薬師寺の銘があることや、永禄年間に伴野氏が館の鬼門守護の祈願を八幡宮と薬師寺に行わせていることより、永禄年間には薬師寺は前述の跡部前より鬼門方向へと移動していることとなる。地形・伝承等より鑑みて、外郭の外側の現南部給食センター東側に建てられていたと推定される。八幡宮は廃社となるまで館の鬼門方向である外郭の外側の現ハローワーク付近に建てられていた。また八幡宮は残存する鰐口（伴野信是寄進）の銘に永禄12年7月信州佐久郡野沢郷八幡宮とある。薬師寺が外郭の外側から内側である現在の地に移動してきた年代は明確ではないが、薬師寺本堂は須弥壇の裏書にあった宝永4年（1707年）という年号を信じるとするならば、数少ない現存する佐久市内の江戸前半期の建物のひとつとなる。現存する寺院本堂で一番古いのは前山真祥寺本堂（1687年）で、平尾守芳院本堂（1697年）、跡部西方寺（1706年）、次に薬師寺本堂（1707年）、桜井延命寺本堂（1726年）、大和田常林寺本堂（1729年）と続く。

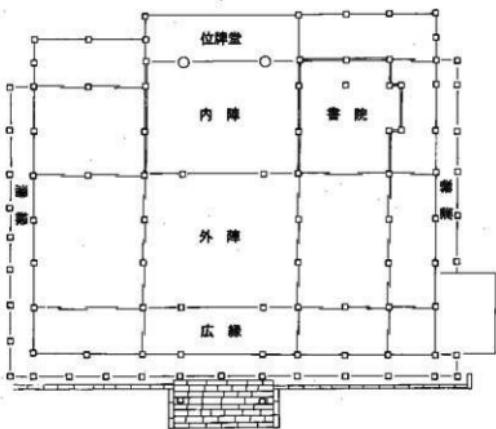
今回の調査により約40cm下方に現在の本堂より小規模な礎石配列と柱穴が検出され、宝永4年以前に堂が存在していたことが判明した。また現在の本堂の礎石の一部と表土には焼失した痕跡があり、少なくとも3期の変遷が考えられる。さらに約80cm下方の中世面は池の跡であり、堂の造成のために河原礎で埋め立てられていることがわかった。中世の野沢館期には園池がこの地に存在していたことが明らかとなった。

### 第Ⅲ章 遺構と遺物

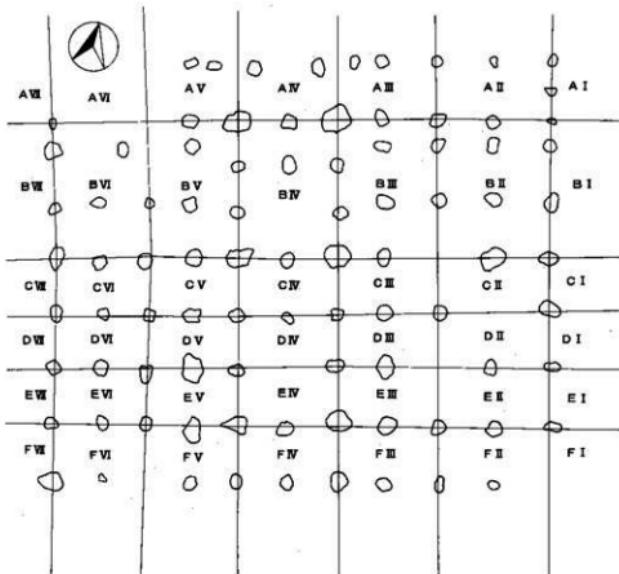
野沢館跡薬師寺遺跡は、標高674m内外を測り、全体が南方から西方より緩やかに東北東に向けて傾斜する。調査区内では周囲より北東部に向けて不規則であるが緩やかに傾斜し、窪地状となる。

#### 1 調査の方法

現存する薬師寺本堂は江戸時代中期前半の建造で、佐久市内においては貴重な寺院建築である。そのため本堂取り壊しの前に、平面図の作成（柱配置図）や、可能な限りの遺物の収集を行った。本堂取り壊し後は、取り壊しにより生じた残骸を手作業で取り除き、礎石を露出させた。この時に出土した遺物は、第8図に明記してあるグリッド区画に基づいて取り上げた。次に建築時の基壇上面まで堆積している土砂を掘下げると並行して平面測量を行い、礎石の配置に基づき第7図のようにA I～F VIIまで42の小調査区画を設定した。さらに基壇構築土・整地層を確認しながら中世面まで層ごとに80～100cmに渡り掘下げた。この基壇構築土中からは多量の中世から近世の遺物が出土した。



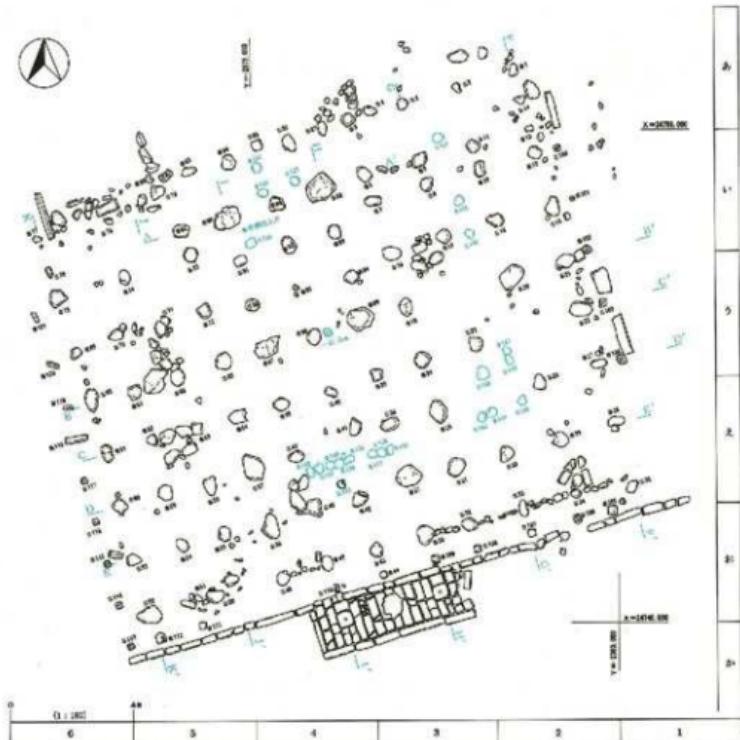
第6図 薬師寺本堂平面図 (1:200)



第7図 調査区設定図 (1:160)

## 2 本堂の調査

薬師寺本堂は、寄棟造で萱葺きの上に鉄板を葺いている。間口は濱縁部分を除き16.6m、奥行きは13.9mを図る。6室様式と考えられるが、部屋は、内陣・外陣・位牌堂を含め11室と広縁に仕切られている。東側・南側・西側の濱縁は後世に増築された部分で、広縁の間仕切りも後世の造作と考えられる。内陣・外陣の天井は格子造りで、須弥壇取付柱のみが円柱である。なお円柱間の寸法は333cmを測る。東側と南側には創建時の基壇の名残が見られるが、西側は流失し、雨水の床下への侵入を招いている。そのため西側を中心にひどく痛んでおり、礎石が枕障し浮いている柱が何本か看取できた。また木製の楔や木端を礎石上にはめ込んでいるものもあり、古くから西側部分の修理が行われていたことがわかる。さらに北東部でも礎石の沈降が起きた個所があり、礎石間に木材を渡して柱を固定した修理の跡や、方形の板をはめ込んだものなどが看取された。遺物は近世の年代記銘のあるものを中心で採集した。享保六年（1721年）銘の鉄製燭台、天明三年（1783年）銘の金銅製盤や金銅製護摩壇具（金剛盤・六器・火舍・飯食器・灑水器・塗香器・五駄鉢・花瓶など）、木製塗金天蓋垂飾、近代以降の瓦類・陶磁器などである。



第8図 薬師寺遺跡平面図（1:160、青は旧本堂礎石）



第9図 薬師寺遺跡構築土切断図・礎石横断図 (1:160)

### 3 構築土の調査

礎石は、現本堂のものとして121個を確認した。また基壇硬化面（第1層下面）より44cm前後下がった面より、旧本堂のものとして22個を確認した。なお礎石No.100～121の21個は、瀬縁増築時のものである。現本堂の基壇規模は、東西19.2m・南北14.8mを図る。また検出された礎石より推定される旧本堂の規模は、東西13.1m・南北12.1mを測る。現本堂の礎石表面には、建築に携わった大工の墨付の線と墨書符号が残存していた。詳細は第2表の礎石一覧表を参照されたい。

第2表 級石一覧表

(「」内は墨書符号)

| 礎石番号 | 位置     | 材質     | 中央標高    | 墨書符号・特徴          |
|------|--------|--------|---------|------------------|
| 1    | あ-2 Gr | 輝石安山岩  | 674.21m |                  |
| 2    | あ-3 Gr | 輝石安山岩  | 674.19  |                  |
| 3    | あ-3    | 輝石安山岩  | 674.17  |                  |
| 4    | あ-3・4  | 輝石安山岩  | 674.18  |                  |
| 5    | あ-4    | 輝石安山岩  | 674.26  |                  |
| 6    | い-4    | 輝石安山岩  | 674.315 | 表面火熱を受け一部変色      |
| 7    | い-3・4  | 角閃石安山岩 | 674.29  | 表面火熱を受け一部変色      |
| 8    | い-3    | 輝石安山岩  | 674.255 | 表面火熱を受け一部変色      |
| 9    | い-3    | 輝石安山岩  | 674.23  | 表面火熱を受け一部変色      |
| 10   | い-3    | 安山岩    | 674.25  | 表面火熱を受け一部変色      |
| 11   | い-3    | 安山岩    | 674.23  | 表面火熱を受け一部変色      |
| 12   | い-2    | 輝石安山岩  | 674.19  |                  |
| 13   | あ-2    | 角閃石安山岩 | 674.25  |                  |
| 14   | あ-2    | 安山岩    | 674.255 |                  |
| 15   | い-2    | 安山岩    | 674.235 | 表面火熱を受け一部変色      |
| 16   | い-2・3  | 輝石安山岩  | 674.215 | 表面火熱を受け一部変色      |
| 17   | い-3    | 輝石安山岩  | 674.285 | 表面火熱を受け一部変色      |
| 18   | い-う-3  | 安山岩    | 674.085 | 表面火熱を受け一部変色      |
| 19   | う-3    | 輝石安山岩  | 674.215 | 表面火熱を受け一部変色      |
| 20   | う-2    | 輝石安山岩  | 674.43  | 表面火熱を受け一部変色      |
| 21   | う-2    | 石英安山岩  | 674.31  |                  |
| 22   | う-2    | 輝石安山岩  | 674.305 | 表面火熱を受け一部変色      |
| 23   | う-3    | 安山岩    | 674.28  | 表面火熱を受け一部変色      |
| 24   | う-3    | 安山岩    | 674.31  | 表面火熱を受け一部変色      |
| 25   | え-3    | 安山岩    | 674.35  |                  |
| 26   | う・え-2  | 安山岩    | 674.35  | 表面火熱を受け一部変色      |
| 27   | う-2    | 輝石安山岩  | 674.25  |                  |
| 28   | え-1・2  | 輝石安山岩  | 674.235 |                  |
| 29   | え-2    | 輝石安山岩  | 674.365 | 表面火熱を受け一部変色。「二六」 |
| 30   | え-2    | 輝石安山岩  | 674.39  | 「三六」             |
| 31   | え-3    | 輝石安山岩  | 674.345 | 「四六」             |
| 32   | お-3    | 輝石安山岩  | 674.305 |                  |
| 33   | え・お-2  | 安山岩    | 674.265 |                  |
| 34   | え-2    | 輝石安山岩  | 674.26  |                  |
| 35   | え-1    | 安山岩    | 674.255 |                  |

|    |         |        |         |                 |
|----|---------|--------|---------|-----------------|
| 36 | お-3     | 輝石安山岩  | 674.34  | 表面火熱を受け変色。      |
| 37 | え-3     | 輝石安山岩  | 674.385 |                 |
| 38 | え-3     | 輝石安山岩  | 674.375 |                 |
| 39 | う・え-3・4 | 安山岩    | 674.37  |                 |
| 40 | え-4     | 安山岩    | 674.24  |                 |
| 41 | え-4     | 輝石安山岩  | 674.20  |                 |
| 42 | え・お-4   | 角閃石安山岩 | 674.345 | 表面火熱を受け変色。      |
| 43 | お-3・4   | 輝石安山岩  | 674.305 |                 |
| 44 | お-3     | 輝石安山岩  | 674.27  | 濁綠礫石            |
| 45 | お-4     | 輝石安山岩  | 674.27  | 表面火熱を受け変色。      |
| 46 | え・お-4   | 輝石安山岩  | 674.32  | 「?六」。表面火熱を受け変色。 |
| 47 | え-4     | 輝石安山岩  | 674.235 |                 |
| 48 | え-4     | 輝石安山岩  | 674.35  | 「六?」            |
| 49 | お-4     | 輝石安山岩  | 674.30  | 表面火熱を受け変色。      |
| 50 | お-5     | 石英安山岩  | 674.33  |                 |
| 51 | お-5     | 輝石安山岩  | 674.28  |                 |
| 52 | お-5     | 輝石安山岩  | 674.31  |                 |
| 53 | お-5・6   | 輝石安山岩  | 674.28  |                 |
| 54 | お-5     | 安山岩    | 674.325 | 「〇八六」           |
| 55 | お-5     | 安山岩    | 674.33  |                 |
| 56 | お-4     | 安山岩    | 674.375 | 表面火熱を受け変色。      |
| 57 | え-4・5   | 輝石安山岩  | 674.335 |                 |
| 58 | え-5     | 角閃石安山岩 | 674.355 |                 |
| 59 | え-5     | 輝石安山岩  | 674.345 |                 |
| 60 | え・お-6   | 輝石安山岩  | 674.27  |                 |
| 61 | え-6     | 安山岩    | 674.30  |                 |
| 62 | え-5     | 角閃石安山岩 | 674.35  | 「〇八〇」           |
| 63 | え-5     | 安山岩    | 674.35  |                 |
| 64 | え-5     | 石英安山岩  | 674.36  |                 |
| 65 | う-5     | 輝石安山岩  | 674.305 | 墨付け「十」字。「七?」    |
| 66 | う・え-5   | 安山岩    | 674.365 | 墨付け「十」字         |
| 67 | え-5・6   | 安山岩    | 674.355 | 墨付け「十」字。「〇??」   |
| 68 | え-6     | 石英安山岩  | 674.29  | 墨付け「十」字         |
| 69 | う-6     | 輝石安山岩  | 674.275 | 墨付け「十」字         |
| 70 | う-6     | 輝石安山岩  | 674.305 | 墨付け「十」字。「〇八二」   |
| 71 | う-5     | 輝石安山岩  | 674.315 | 墨付け「十」字。「八」     |
| 72 | う-5     | 安山岩    | 674.295 | 墨付け「十」字。「七二」    |
| 73 | い・う-5   | 安山岩    | 674.205 | 墨付け「十」字         |
| 74 | う-6     | 安山岩    | 674.245 | 墨付け「十」字         |
| 75 | う-6     | 安山岩    | 674.265 | 墨付け「十」字         |
| 76 | う-6     | 輝石安山岩  | 674.30  |                 |
| 77 | い-6     | 安山岩    | 674.23  |                 |
| 78 | い-6     | 安山岩    | 674.15  |                 |
| 79 | い-5     | 安山岩    | 674.245 |                 |
| 80 | い-5     | 安山岩    | 674.195 |                 |
| 81 | い-5     | 安山岩    | 674.27  |                 |
| 82 | い-5     | 安山岩    | 674.215 | 墨付け「十」字         |

|     |       |        |         |                     |
|-----|-------|--------|---------|---------------------|
| 83  | い-5   | 安山岩    | 674.26  |                     |
| 84  | い-5   | 安山岩    | 674.24  |                     |
| 85  | い-4   | 安山岩    | 674.195 |                     |
| 86  | い-4   | 安山岩    | 674.235 |                     |
| 87  | あ-4   | 安山岩    | 674.22  |                     |
| 88  | い-4   | 溶結凝灰岩  | 674.515 | 表面火熱を受け一部変色。墨付け「十」字 |
| 89  | い-4   | 輝石安山岩  | 674.30  | 墨付け「十」字             |
| 90  | い-5   | 溶結凝灰岩  | 674.49  | 墨付け「十」字             |
| 91  | い-う-5 | 安山岩    | 674.25  | 墨付け「十」字。「六一」        |
| 92  | い-4   | 輝石安山岩  | 674.34  | 墨付け「十」字。「四二」「ろ」     |
| 93  | い-4   | 安山岩    | 674.35  | 表面火熱を受け一部変色。墨付け「十」字 |
| 94  | う-4   | 輝石安山岩  | 674.335 | 表面火熱を受け一部変色。墨付け「十」字 |
| 95  | う-4   | 輝石安山岩  | 674.23  |                     |
| 96  | う-4・5 | 安山岩    | 674.825 | 墨付け「十」字             |
| 97  | う-4   | 安山岩    | 674.375 | 墨付け「十」字。「六？」        |
| 98  | う-4   | 安山岩    | 674.37  | 表面火熱を受け一部変色         |
| 99  | う-4   | 輝石安山岩  | 674.34  | 墨付け「十」字。「二三」        |
| 100 | い-2   | 輝石安山岩  | 674.19  | 濡縁礎石                |
| 101 | い-2   | 輝石安山岩  | 674.145 | 濡縁礎石                |
| 102 | い-2   | 輝石安山岩  | 674.20  | 濡縁礎石                |
| 103 | う-2   | 輝石安山岩  | 674.24  | 濡縁礎石                |
| 104 | う-1・2 | 輝石安山岩  | 674.28  | 濡縁礎石                |
| 105 | お-2   | 輝石安山岩  | 674.33  | 濡縁礎石                |
| 106 | お-2   | 輝石安山岩  | 674.305 | 濡縁礎石                |
| 107 | お-2   | 輝石安山岩  | 674.22  | 濡縁礎石                |
| 108 | お-3   | 輝石安山岩  | 674.295 | 濡縁礎石                |
| 109 | お-3   | 輝石安山岩  | 674.295 | 濡縁礎石                |
| 110 | お-4   | 輝石安山岩  | 674.28  | 濡縁礎石                |
| 111 | か-5   | 輝石安山岩  | 674.225 | 濡縁礎石                |
| 112 | か-5   | 輝石安山岩  | 674.275 | 濡縁礎石                |
| 113 | か-5・6 | 輝石安山岩  | 674.31  | 濡縁礎石                |
| 114 | お-6   | 輝石安山岩  | 674.30  | 濡縁礎石                |
| 115 | お-6   | 輝石安山岩  | 674.31  | 濡縁礎石                |
| 116 | お-6   | 輝石安山岩  | 674.31  | 濡縁礎石                |
| 117 | え-6   | 輝石安山岩  | 674.31  | 濡縁礎石                |
| 118 | え-6   | 輝石安山岩  | 674.28  | 濡縁礎石                |
| 119 | え-6   | 輝石安山岩  | 674.33  | 濡縁礎石                |
| 120 | う-6   | 輝石安山岩  | 674.385 | 濡縁礎石                |
| 121 | う-6   | 輝石安山岩  | 674.44  | 濡縁礎石                |
| 130 | い-4   | 安山岩    | 673.87  | 旧本堂礎石。方形柱痕光沢部分あり。   |
| 131 | い-4   | 輝石安山岩  | 673.835 | 旧本堂礎石。方形柱痕光沢部分あり。   |
| 132 | い-4   | 安山岩    | 673.875 | 旧本堂礎石。方形柱痕光沢部分あり。   |
| 133 | え-4   | 安山岩    | 673.855 | 旧本堂礎石               |
| 134 | い-4・5 | 安山岩    | 673.735 | 旧本堂礎石。方形柱痕光沢部分あり。   |
| 135 | え-3   | 輝石安山岩  | 673.96  | 旧本堂礎石               |
| 136 | え-3   | 角閃石安山岩 | 673.97  | 旧本堂礎石               |
| 137 | え-3・4 | 輝石安山岩  | 673.965 | 旧本堂礎石               |

|     |       |       |         |                   |
|-----|-------|-------|---------|-------------------|
| 138 | え-4   | 安山岩   | 673.96  | 旧本堂礎石             |
| 139 | え-4   | 安山岩   | 673.93  | 旧本堂礎石             |
| 140 | え-4   | 安山岩   | 673.905 | 旧本堂礎石             |
| 141 | え-4   | 安山岩   | 673.815 | 旧本堂礎石             |
| 142 | え-4   | 輝石安山岩 | 673.875 | 旧本堂礎石             |
| 143 | え-3   | 安山岩   | 673.865 | 旧本堂礎石             |
| 144 | え-3   | 安山岩   | 673.795 | 旧本堂礎石             |
| 145 | え-2   | 輝石安山岩 | 673.785 | 旧本堂礎石             |
| 146 | う-2   | 輝石安山岩 | 673.82  | 旧本堂礎石             |
| 147 | う-2   | 輝石安山岩 | 673.78  | 旧本堂礎石             |
| 148 | う・え-3 | 安山岩   | 673.815 | 旧本堂礎石。方形柱痕光沢部分あり。 |
| 149 | い-3   | 輝石安山岩 | 673.76  | 旧本堂礎石             |
| 150 | い-3   | 安山岩   | 673.74  | 旧本堂礎石             |
| 151 | い-3   | 安山岩   | 673.745 | 旧本堂礎石。方形柱痕光沢部分あり。 |

## 1) 第1層

構築土は8層が確認された。また中世の池の堆積層が2層確認された。

第1層は、暗褐色のシルトと砂の混合土層(10YR 3/3)で、内陣を中心に東から南側にかけて多量の焦土と灰を含んでいた。調査時には基壇硬化面上部層で表層として扱った。礎石表面に火熱を受けたものがあり、それらの分布状況と焦土・灰の広がりは一致する。本堂の中央から内陣と東側にかけて火災により焼失したことが窺える。当然内陣内の須弥壇もこの時焼失していると考えられる。つまり須弥壇の裏書の宝永4年(1707年)は再建時の年号の可能性が高い。この火災時に薬師如来かあるいは大日如来等の仏像が失われたのではないだろうか。その本尊の変わりとして不動明王・愛染明王が置かれたと考えられる。そして不動護摩か愛染護摩がこの本堂において盛んに行われたのであろう。また本堂南側入口付近の礎石も火を受けて変色し、基壇硬化面も焼けて黒化しており炭化材が散乱していた。この付近の火災は小規模で再建後の火災と考えられる。その他近世の出土遺物には火を受けているものがいくつかあり、再建後にも何回かの小規模火災を起こしているものと推測される。現在本堂のほかに薬師堂と不動堂が存在するが、仏像の数が少なく、度重なる火災等により失われ現在に至っていると考えたほうが自然であろう。

第1層の出土遺物は近世から現代にかけてのものが主体である。主たる出土遺物は、近世の灯明皿、近世から近代にかけての陶磁器・古錢、近世の禮器・天蓋垂飾・金銅製幡垂飾?・角釘などである。なお南入口付近より多量に出土した近代錢は、表のみの記録に留めた。

第3表 近現代錢一覧表

| 錢種  | 出土位置   | 種類 | 製造年   | 錢種  | 出土位置   | 種類  | 製造年   |
|-----|--------|----|-------|-----|--------|-----|-------|
| 1厘  | 表1層    | 銅貨 | 明治6年  | 5厘  | F IV   | 青銅貨 | 大正7年  |
| 半錢  | F IV   | 銅貨 | 明治10年 | 半錢  | お-4 Gr | 銅貨  | 明治10年 |
| 半錢  | お-4 Gr | 銅貨 | 明治14年 | 半錢  | F IV   | 銅貨  | 明治16年 |
| 半錢  | え-5 Gr | 銅貨 | 明治19年 | 半錢  | F IV   | 銅貨  | 明治20年 |
| 竜1錢 | F IV   | 銅貨 | 明治7年  | 竜1錢 | F IV   | 銅貨  | 明治10年 |
| 竜1錢 | F IV   | 銅貨 | 明治15年 | 竜1錢 | 表層     | 銅貨  | 明治16年 |
| 竜1錢 | F IV   | 銅貨 | 明治18年 | 竜1錢 | F IV   | 銅貨  | 明治17年 |
| 竜1錢 | F IV   | 銅貨 | 明治19年 | 稻1錢 | F III  | 青銅貨 | 明治32年 |

|       |       |       |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 桐1錢   | F III | 青銅貨   | 大正6年  | 桐1錢   | 表層    | 青銅貨   | 大正6年  |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正6年  | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正7年  |
| 桐1錢   | E IV  | 青銅貨   | 大正7年  | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正7年  |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正7年  | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正7年  |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正7年  | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正8年  |
| 桐1錢   | F III | 青銅貨   | 大正8年  | 桐1錢   | え-3Gr | 青銅貨   | 大正8年  |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正8年  | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正8年  |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正8年  | 桐1錢   | F III | 青銅貨   | 大正8年  |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正8年  | 桐1錢   | え-3Gr | 青銅貨   | 大正8年  |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正8年  | 桐1錢   | 表層    | 青銅貨   | 大正8年  |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正8年  | 桐1錢   | F V   | 青銅貨   | 大正9年  |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正9年  | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正9年  |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正9年  | 桐1錢   | 表層    | 青銅貨   | 大正9年  |
| 桐1錢   | 表層    | 青銅貨   | 大正9年  | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正9年  |
| 桐1錢   | 表層    | 青銅貨   | 大正9年  | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正9年  |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正9年  | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正9年  |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正9年  | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正10年 |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正10年 | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正10年 |
| 桐1錢   | え-3Gr | 青銅貨   | 大正10年 | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正10年 |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正10年 | 桐1錢   | 表層    | 青銅貨   | 大正13年 |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正10年 | 桐1錢   | お-3Gr | 青銅貨   | 大正10年 |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正10年 | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正10年 |
| 桐1錢   | F III | 青銅貨   | 大正11年 | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正10年 |
| 桐1錢   | B V   | 青銅貨   | 大正10年 | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正10年 |
| 桐1錢   | お-4Gr | 青銅貨   | 大正10年 | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正10年 |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正10年 | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正10年 |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正10年 | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正10年 |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正10年 | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正11年 |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正11年 | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正11年 |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正11年 | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正11年 |
| 桐1錢   | F III | 青銅貨   | 大正11年 | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正11年 |
| 桐1錢   | お-3Gr | 青銅貨   | 大正11年 | 桐1錢   | 表層    | 青銅貨   | 大正11年 |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正12年 | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 大正12年 |
| 桐1錢   | え-3Gr | 青銅貨   | 大正12年 | 桐1錢   | う-5Gr | 青銅貨   | 大正13年 |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 昭和7年  | 桐1錢   | 表1層   | 青銅貨   | 昭和9年  |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 不明    | 桐1錢   | 表層    | 青銅貨   | 不明    |
| 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 不明    | 桐1錢   | F IV  | 青銅貨   | 不明    |
| 桐1錢   | 表層    | 青銅貨   | 不明    | カラス1錢 | F IV  | アルミ貨  | 昭和14年 |
| カラス1錢 | F IV  | アルミ貨  | 昭和14年 | カラス1錢 | 表層    | アルミ貨  | 昭和15年 |
| カラス1錢 | 表層    | アルミ貨  | 昭和15年 | カラス1錢 | 表層    | アルミ貨  | 昭和15年 |
| カラス1錢 | お-4Gr | アルミ貨  | 昭和15年 | カラス1錢 | 表層    | アルミ貨  | 昭和15年 |
| カラス1錢 | お-4Gr | アルミ貨  | 昭和15年 | 富士1錢  | 表層    | アルミ貨  | 昭和16年 |
| 富士1錢  | 表層    | アルミ貨  | 昭和16年 | 富士1錢  | お-5Gr | アルミ貨  | 昭和16年 |
| 富士1錢  | F IV  | アルミ貨  | 昭和17年 | 富士1錢  | お-5Gr | アルミ貨  | 昭和17年 |
| 富士1錢  | 表層    | アルミ貨  | 昭和17年 | 富士1錢  | お-5Gr | アルミ貨  | 昭和18年 |
| 菊5錢   | お-4Gr | 白銅貨   | 明治29年 | 菊5錢   | F II  | 白銅貨   | 明治23年 |
| 小型穴5錢 | F IV  | ニッケル貨 | 大正10年 | 小型穴5錢 | F IV  | ニッケル貨 | 大正10年 |

|       |      |      |       |      |        |      |       |
|-------|------|------|-------|------|--------|------|-------|
| 旭日10銭 | E V  | 銀貨   | 大正5年  | 10銭  | F IV   | 白銅貨  | 大正12年 |
| 菊10銭  | F IV | アルミ貨 | 昭和16年 | 菊10銭 | F IV   | アルミ貨 | 昭和16年 |
| 菊10銭  | 表層   | アルミ貨 | 昭和18年 | 50銭  | お-4 Gr | 銀貨   | 大正12年 |

## 2) 第2・3・5・6層

第2層は人為的に固く敲き締められたシルトと砂の交互層（10YR 4/4～4/6）で、北西から西側にかけて広がっていた。第3層は敲き締められたシルトと砂の混合土層（10YR 2/3～3/4）で、ほぼ全面に広がり、炭化材微小片を微量含み、多量の焦土と灰を含んでいた。第3層は敲き締められたシルトと砂の混合單一土層（10YR 3/3）で、第6層は敲き締められたシルトと砂の混合土層（10YR 2/2～4/3）で、内陣から北側にかけて広がり、炭化材微小片を微量含んでいた。いずれの層も基壇構築土で、人為的に何回にも渡り固く敲き締められていた。第2・3層は一部本堂解体作業時に重機による搅乱を受けていたが上部より混入した遺物はわずかであった。

出土遺物は近世のものがほとんどで、わずかに中世の遺物が混入していた。主たる遺物は、中世から近世の陶磁器・土鍋・瓦器・かわらけ・古錢・角釘・土製品、再建時に地鎮のために埋納されたと考えられる慶長豆板銀などである。

## 3) 第4層

第4層は川原石を搬入して敷き詰めた基壇基盤層（10YR 2/2）で、薄厚の差はあるが全体に広がり、上部層の土砂があり込んでいた個所もあった。中世の池の水を切ったあと次々と投げ入れたと考えられ、雖然としており、空洞化している個所もいくつか存在した。また第9層の池の堆積面に石が食い込んでいた。

出土遺物は中世を主体とし、近世のものが若干出土した。主たる遺物は、古錢・角釘・土鍋・かわらけ・陶器・石製品などである。

## 4) 第7・8層

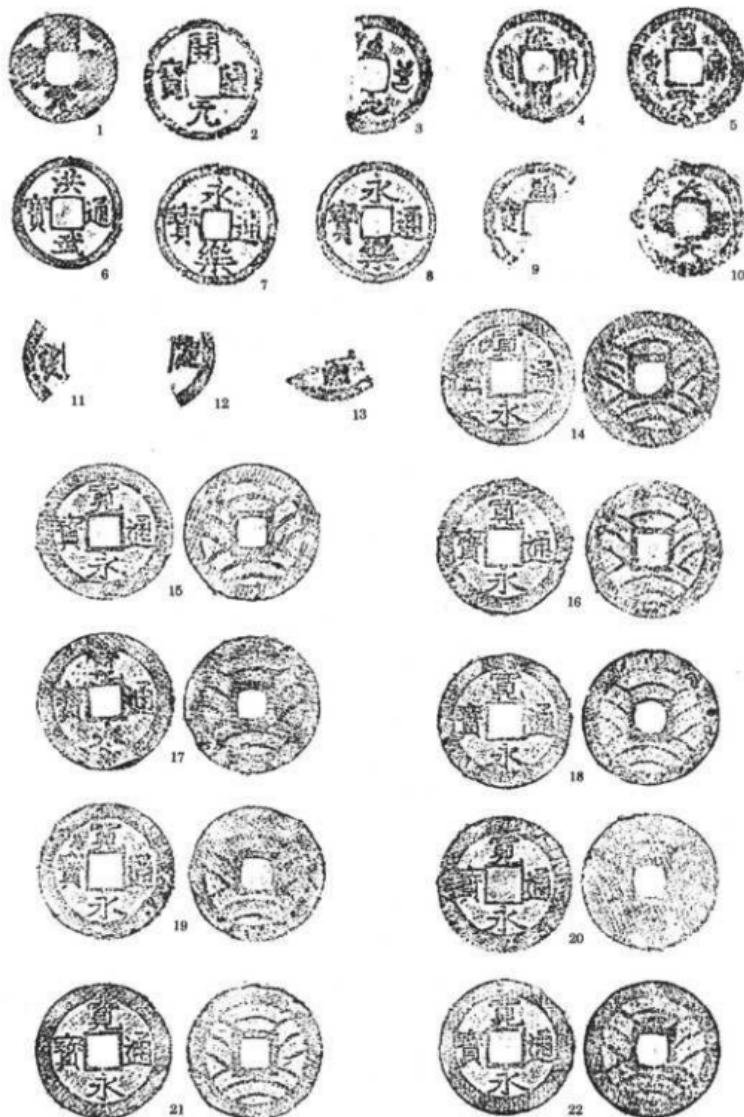
第7層は人為的に埋め立てられたシルトの混合土層（10YR 3/3）で、北東部の一部に土堤状に広がっていた。第8層は人為的に埋め立てられた砂礫混合土層（10YR 3/4）で、北東部の一部に土堤状に広がっていた。

出土遺物は少なく、中近世のかわらけ・土鍋などである。

## 5) 第9・10層

第9層は池沼堆積土層（10YR 4/3～3/3）で、炭化草木類・黒色シルトを少量含み、南西部に広がっていた。第10層は池沼堆積土層（10YR 4/4）で、南西部に広がっていた。E III区・B II区で160cmほどトレンチを掘下げた結果、第4層の下に第9層を確認することができた。第9・10層は全面に広がっているものと考えられる。出土遺物は中世の土鍋などで、中世には付近が池だったことが判明した。

現地表面のレベルは、本堂周囲より内陣東側に向かって低下させ、一番低い地点は外郭外側より25cm～32cm程度低くなっている。このことからも外郭の堀と一体化した池であったことがわかる。



第10圖 出土古錢拓影圖 (1:1)



23



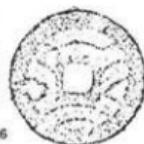
24



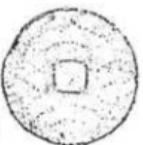
25



26



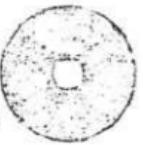
27



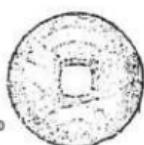
28



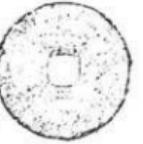
29



30



31



32



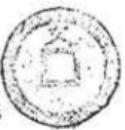
33



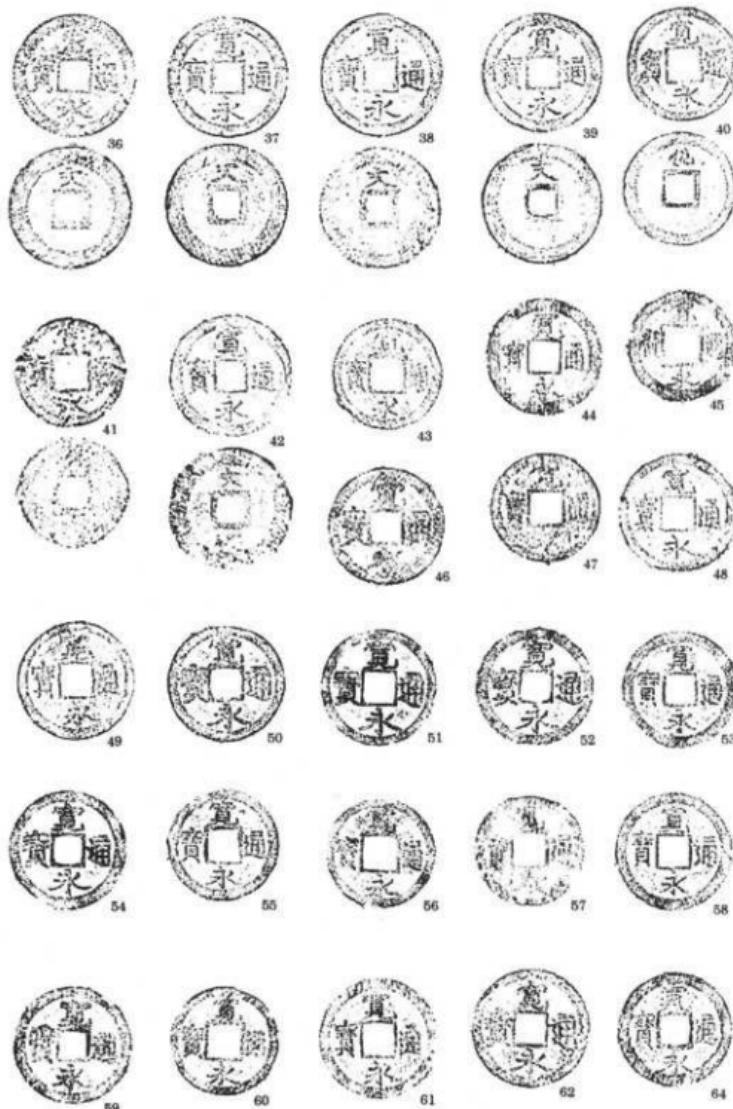
34



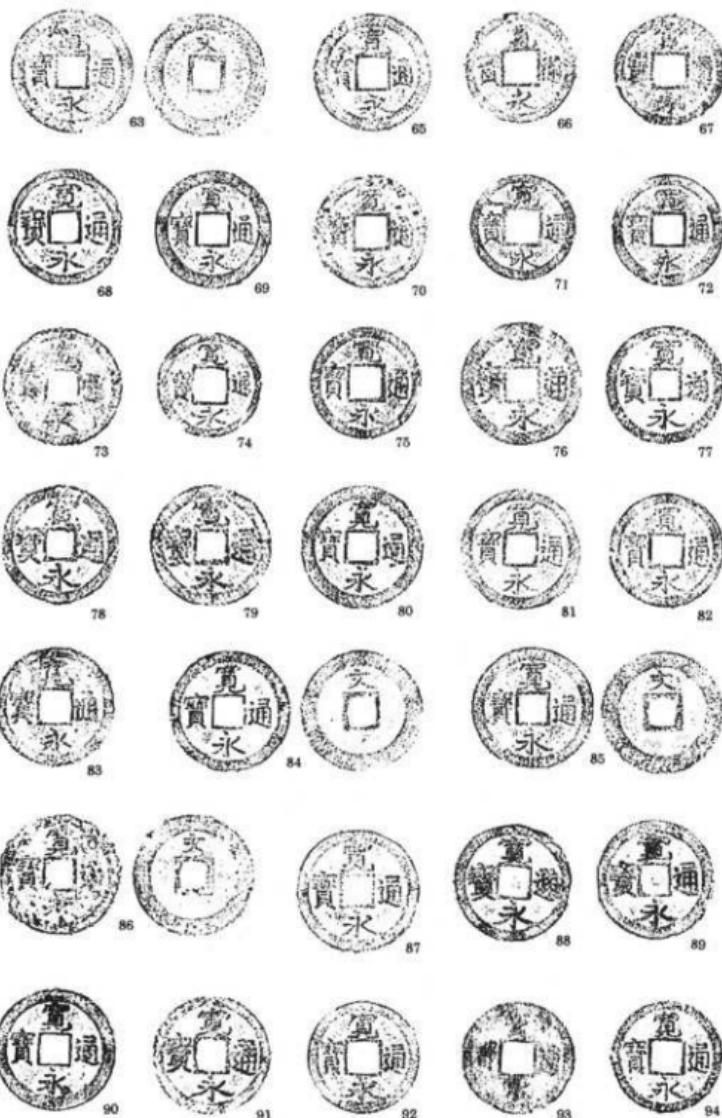
35



第11圖 出土古錢拓影圖（1:1）



第12圖 出土古錢拓影圖 (1:1)



第1384 出土古錢拓影圖 (1:1)



95



96



97



98



99



100



101



102



103



104



105



106



107



108



109



110



111



112



113



114



115



116



117



118



119



120



121

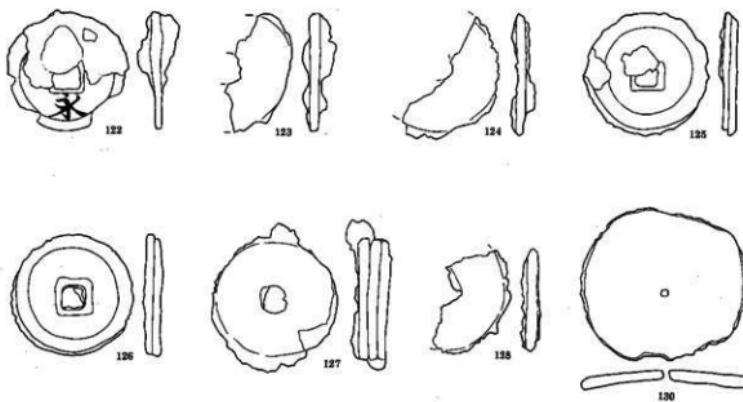


122



123

第14圖 出土古錢拓影圖 (1:1)



第15圖 出土古錢來測圖 (1:1)

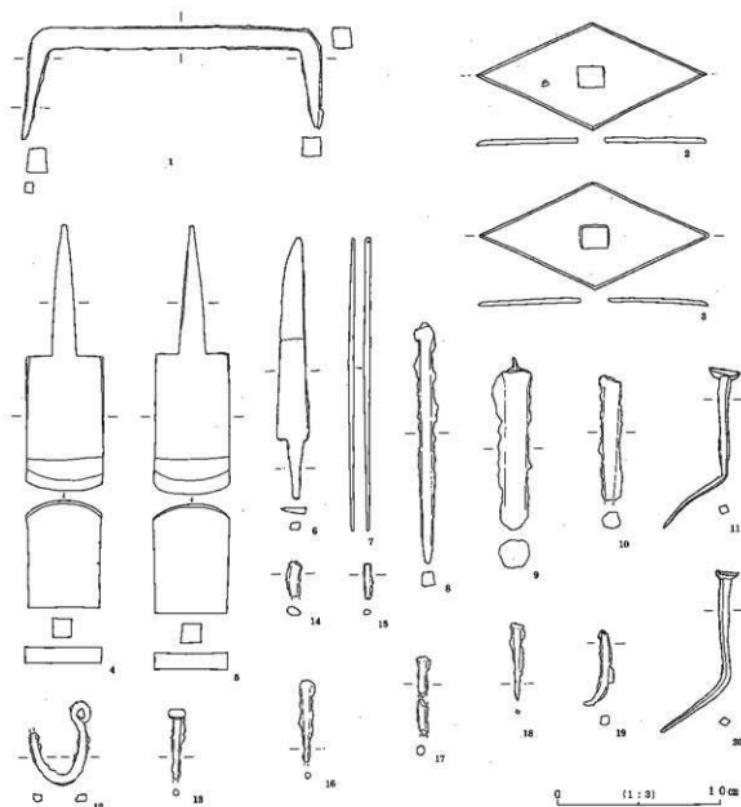
第4表 出土古錢一覽表

| 插図番号  | 出土位置     | 錢種   | 種類 | 製造年・背文・特徴       |
|-------|----------|------|----|-----------------|
| 10-1  | B II・4層  | 開元通寶 | 銅貨 | 621年(唐)         |
| 10-2  | F IV・4層  | 開元通寶 | 銅貨 | 621年(唐)         |
| 10-3  | F VI・1層  | 至道元〇 | 銅貨 | 995年(北宋)、草書     |
| 10-4  | F IV・4層  | 元符通寶 | 銅貨 | 1098年(北宋)、篆書    |
| 10-5  | B VI・3層  | 聖宋元寶 | 銅貨 | 1101年(北宋)、篆書    |
| 10-6  | B V・4層   | 洪武通寶 | 銅貨 | 1368年(明)        |
| 10-7  | E VI・2層  | 永樂通寶 | 銅貨 | 1408年(明)        |
| 10-8  | E VI・2層  | 永樂通寶 | 銅貨 | 1408年(明)        |
| 10-9  | う-5Gr・1層 | 紹〇〇寶 | 銅貨 |                 |
| 10-10 | E IV・4層  | 大〇大〇 | 銅貨 |                 |
| 10-11 | F IV・4層  | 〇〇〇寶 | 銅貨 | 行書              |
| 10-12 | D II・3層  | 〇聖〇〇 | 銅貨 |                 |
| 10-13 | F IV・3層  | 〇宋〇〇 | 銅貨 | 篆書              |
| 10-14 | 1層       | 寛永通寶 | 銅貨 | 4文錢、1769年～、背11波 |
| 10-15 | 1層       | 寛永通寶 | 銅貨 | 4文錢、1769年～、背11波 |
| 10-16 | う-2Gr・1層 | 寛永通寶 | 銅貨 | 4文錢、1769年～、背11波 |
| 10-17 | う-2Gr・1層 | 寛永通寶 | 銅貨 | 4文錢、1769年～、背11波 |
| 10-18 | う-2Gr・1層 | 寛永通寶 | 銅貨 | 4文錢、1769年～、背11波 |
| 10-19 | B III・1層 | 寛永通寶 | 銅貨 | 4文錢、1769年～、背11波 |
| 10-20 | B III・1層 | 寛永通寶 | 銅貨 | 4文錢、1769年～、背11波 |
| 10-21 | C II・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 4文錢、1769年～、背11波 |
| 10-22 | い-3Gr・1層 | 寛永通寶 | 銅貨 | 4文錢、1769年～、背11波 |
| 11-23 | B III・1層 | 寛永通寶 | 銅貨 | 4文錢、1769年～、背11波 |
| 11-24 | B II・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 4文錢、1769年～、背11波 |
| 11-25 | 1層       | 寛永通寶 | 銅貨 | 4文錢、1769年～、背11波 |

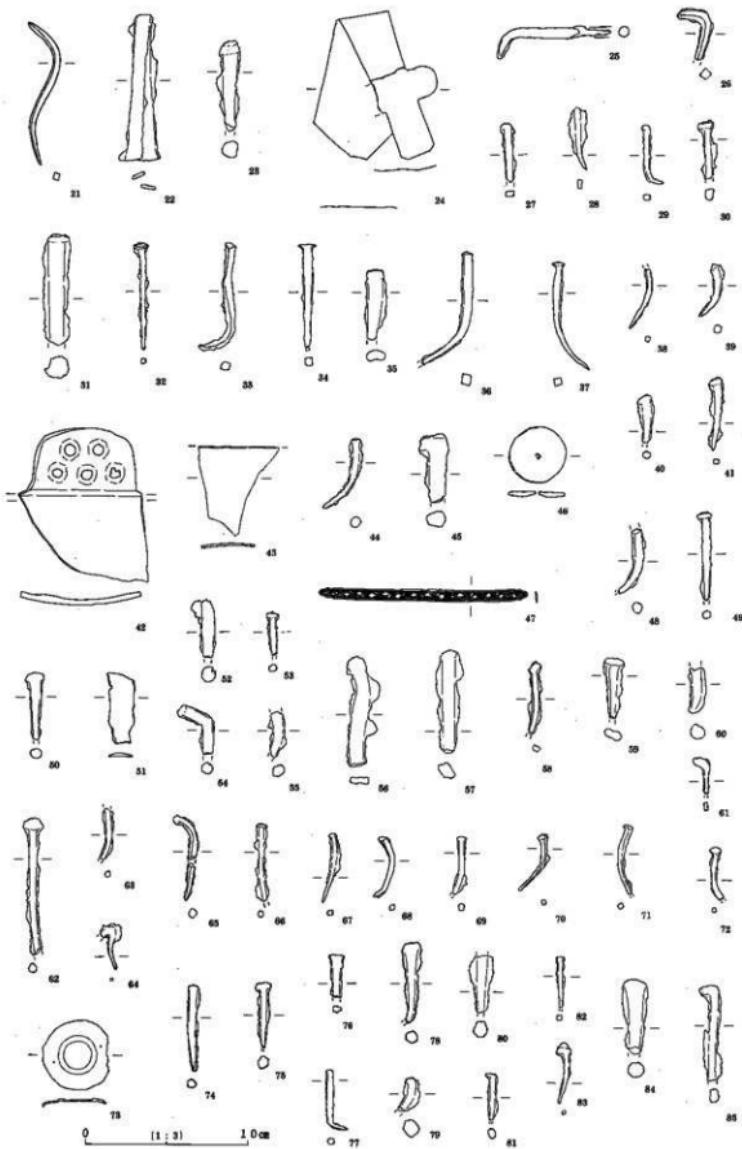
|       |          |      |    |                 |
|-------|----------|------|----|-----------------|
| 11-26 | B II・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 4文錢、1769年～、背11波 |
| 11-27 | B II・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 4文錢、1769年～、背11波 |
| 11-28 | B II・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 4文錢、1769年～、背11波 |
| 11-29 | B II・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 4文錢、1769年～、背11波 |
| 11-30 | B II・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 4文錢、1769年～、背11波 |
| 11-31 | D IV・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 4文錢、1769年～、背11波 |
| 11-32 | F IV・3層  | 文久通寶 | 銅貨 | 4文錢、1863年～、背11波 |
| 11-33 | B II・4層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1668年～、背「文」     |
| 11-34 | C IV・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1741年～、背「元」     |
| 11-35 | 表採       | 寛永通寶 | 銅貨 | 1668年～、背「文」     |
| 12-36 | B II・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1668年～、背「文」     |
| 12-37 | F V・1層   | 寛永通寶 | 銅貨 | 1668年～、背「文」     |
| 12-38 | A III・1層 | 寛永通寶 | 銅貨 | 1668年～、背「文」     |
| 12-39 | E V・2層   | 寛永通寶 | 銅貨 | 1668年～、背「文」     |
| 12-40 | F IV・1層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1714年～、背「佐」     |
| 12-41 | F VI・1層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1768年～、背「久」     |
| 12-42 | A III・1層 | 寛永通寶 | 銅貨 | 1668年～、背「文」     |
| 12-43 | F IV・1層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1739年～          |
| 12-44 | F IV・1層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1636年～          |
| 12-45 | F IV・1層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1739年～          |
| 12-46 | F IV・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1636年～          |
| 12-47 | F IV・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1739年～          |
| 12-48 | 1層       | 寛永通寶 | 銅貨 | 1636年～          |
| 12-49 | 1層       | 寛永通寶 | 銅貨 | 1636年～          |
| 12-50 | 1層       | 寛永通寶 | 銅貨 | 1636年～          |
| 12-51 | 1層       | 寛永通寶 | 銅貨 | 1636年～          |
| 12-52 | F II・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1636年～          |
| 12-53 | う-5Gr・1層 | 寛永通寶 | 銅貨 | 1668年～          |
| 12-54 | う-5Gr・1層 | 寛永通寶 | 銅貨 | 1636年～          |
| 12-55 | え-3Gr・1層 | 寛永通寶 | 銅貨 | 1739年～          |
| 12-56 | F IV・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1739年～          |
| 12-57 | F IV・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1739年～          |
| 12-58 | F IV・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1739年～          |
| 12-59 | A III    | 寛永通寶 | 銅貨 | 1637年～          |
| 12-60 | A III    | 寛永通寶 | 銅貨 | 1739年～          |
| 12-61 | A III    | 寛永通寶 | 銅貨 | 1637年～          |
| 12-62 | A III    | 寛永通寶 | 銅貨 | 1656年～          |
| 12-63 | A IV・4層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1668年～、背「文」     |
| 12-64 | A III・3層 | 寛永通寶 | 銅貨 | 1736年～          |
| 13-65 | い-4Gr・1層 | 寛永通寶 | 銅貨 | 1737年～          |
| 13-66 | い-4Gr・1層 | 寛永通寶 | 銅貨 | 1739年～          |
| 13-67 | F V・1層   | 寛永通寶 | 銅貨 | 1739年～          |
| 13-68 | B V・3層   | 寛永通寶 | 銅貨 | 1656年～          |
| 13-69 | D VI・1層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1636年～          |
| 13-70 | D IV・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1736年～          |
| 13-71 | D IV・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1739年～          |
| 13-72 | D IV・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1736年～          |

|        |           |      |    |             |
|--------|-----------|------|----|-------------|
| 13-73  | D IV・3層   | 寛永通寶 | 銅貨 | 1637年~      |
| 13-74  | D IV・3層   | 寛永通寶 | 銅貨 | 1739年~      |
| 13-75  | D IV・3層   | 寛永通寶 | 銅貨 | 1737年~      |
| 13-76  | A III・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1637年~      |
| 13-77  | A IV・3層   | 寛永通寶 | 銅貨 | 1637年~      |
| 13-78  | A III・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1637年~      |
| 13-79  | F III・1層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1637年~      |
| 13-80  | C I・1層    | 寛永通寶 | 銅貨 | 1637年~      |
| 13-81  | A III・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1736年~      |
| 13-82  | A III・1層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1736年~      |
| 13-83  | A III・1層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1637年~      |
| 13-84  | A III・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1668年~、背「文」 |
| 13-85  | い-4 Gr・1層 | 寛永通寶 | 銅貨 | 1668年~、背「文」 |
| 13-86  | F IV・1層   | 寛永通寶 | 銅貨 | 1668年~、背「文」 |
| 13-87  | A III・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1728年~      |
| 13-88  | A III・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1656年~      |
| 13-89  | A III・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1656年~      |
| 13-90  | A III・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1740年~      |
| 13-91  | え-6 Gr・1層 | 寛永通寶 | 銅貨 | 1637年~      |
| 13-92  | D IV・3層   | 寛永通寶 | 銅貨 | 1738年~      |
| 13-93  | お-5 Gr・1層 | 寛永通寶 | 銅貨 | 1737年~      |
| 13-94  | い-5 Gr・1層 | 寛永通寶 | 銅貨 | 1767年~      |
| 14-95  | E V・2層    | 寛永通寶 | 銅貨 | 1739年~      |
| 14-96  | A III・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1740年~      |
| 14-97  | A III・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1767年~      |
| 14-98  | A III・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1767年~      |
| 14-99  | A III・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1728年~      |
| 14-100 | A III・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1716年~      |
| 14-101 | F III・1層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1739年~      |
| 14-102 | A III・3層  | 寛永通寶 | 銅貨 | 1708年~      |
| 14-103 | C IV・3層   | 寛永通寶 | 銅貨 | 1708年~      |
| 14-104 | F II・3層   | 寛永通寶 | 銅貨 | 1708年~      |
| 14-105 | B V・1層    | 寛永通寶 | 銅貨 | 年代不明        |
| 14-106 | C IV・3層   | 寛永通寶 | 銅貨 | 年代不明        |
| 14-107 | 1層        | 寛永通寶 | 銅貨 | 1637年~      |
| 14-108 | E V・2層    | 寛永通寶 | 銅貨 | 1737年~      |
| 14-109 | E V・2層    | 寛永通寶 | 銅貨 | 1708年~      |
| 14-110 | E V・2層    | 寛永通寶 | 銅貨 | 1739年~      |
| 14-111 | B V・3層    | 寛永通寶 | 銅貨 | 1637年~      |
| 14-112 | い-4 Gr・1層 | 寛永通寶 | 銅貨 | 1736年~      |
| 14-113 | 1層        | 寛永通寶 | 銅貨 | 1656年~      |
| 14-114 | い-4 Gr・1層 | 寛永通寶 | 銅貨 | 1700年~      |
| 14-115 | F IV・1層   | 寛永通寶 | 銅貨 | 1738年~      |
| 14-116 | お-3 Gr・1層 | 寛永通寶 | 銅貨 | 1767年~      |
| 14-117 | F IV・1層   | 寛永通寶 | 銖貨 | 1739年~      |
| 14-118 | う-2 Gr・1層 | 寛永通寶 | 銖貨 | 1739年~      |
| 14-119 | F II・3層   | 寛○通寶 | 銅貨 | 1737年~      |

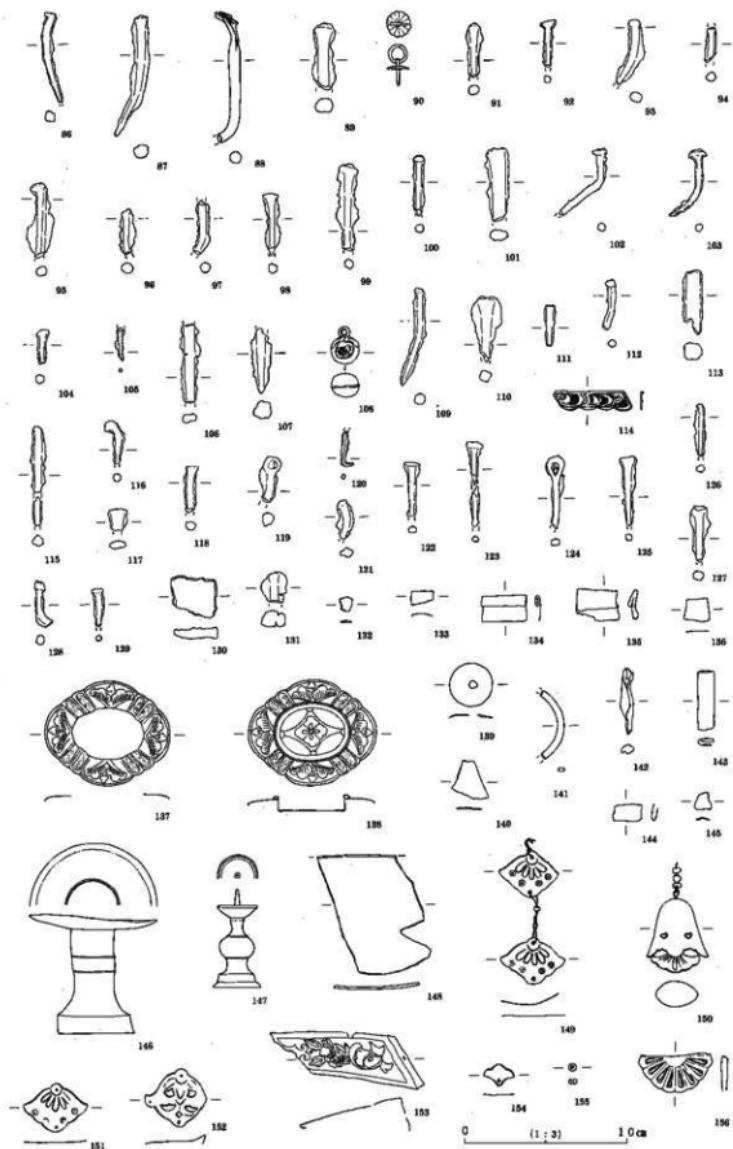
|        |          |       |      |                          |
|--------|----------|-------|------|--------------------------|
| 14-120 | C IV・3層  | 寛〇〇〇  | 鉄貨   | 年代不明                     |
| 14-121 | A III・1層 | ○永通○  | 鉄貨   | 1739年～                   |
| 15-122 | F IV・1層  | ○永〇〇  | 鉄貨   | 寛永通寶1739年～               |
| 15-123 | F IV・1層  |       | 鉄貨   | 寛永通寶1739年～               |
| 15-124 | F IV・1層  |       | 鉄貨   | 寛永通寶1739年～               |
| 15-125 | F IV・1層  |       | 鉄・銅貨 | 寛永通寶1739年～、2枚            |
| 15-126 | F IV・1層  |       | 鉄貨   | 寛永通寶1739年～、2枚            |
| 15-127 | F IV・1層  |       | 鉄貨   | 寛永通寶1739年～、3枚            |
| 15-128 | F IV・1層  |       | 鉄貨   | 寛永通寶1739年～               |
| 15-129 | A IV・3層  | 雁首錢   | 銅    |                          |
| 15-130 | B IV・3層  | 廣長豆板銀 | 銀貨   | 1601～1695年、14.72 g (約4匁) |



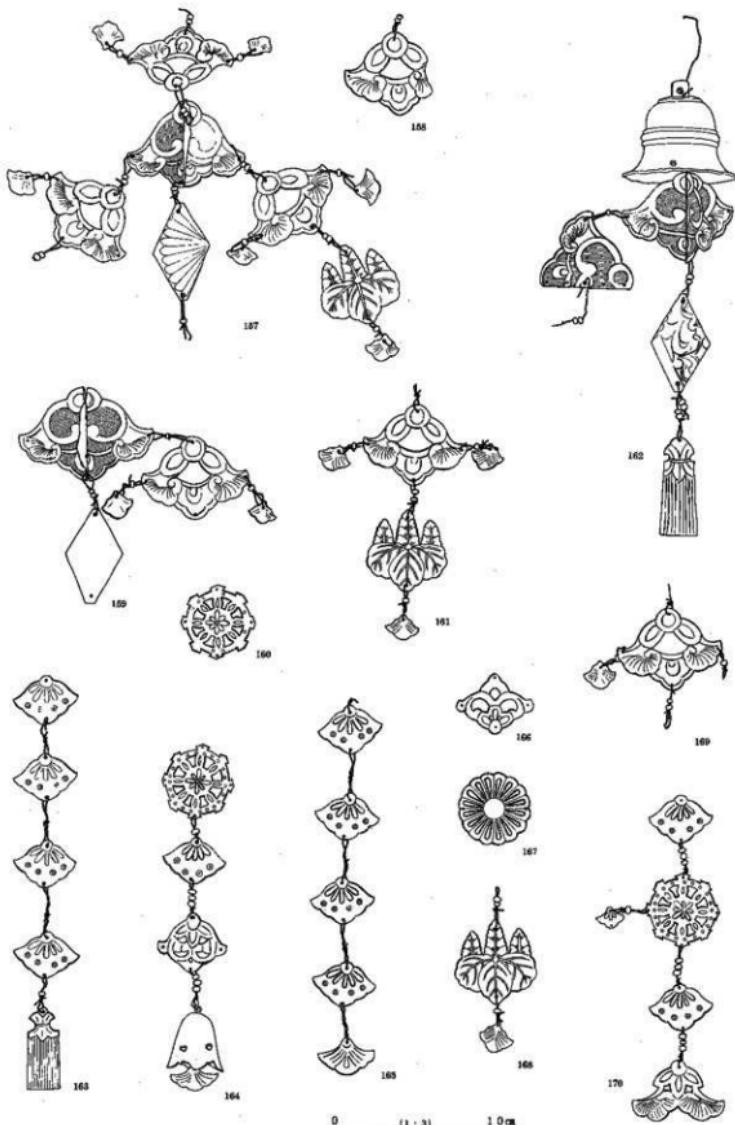
第16図 出土金属製品実測図



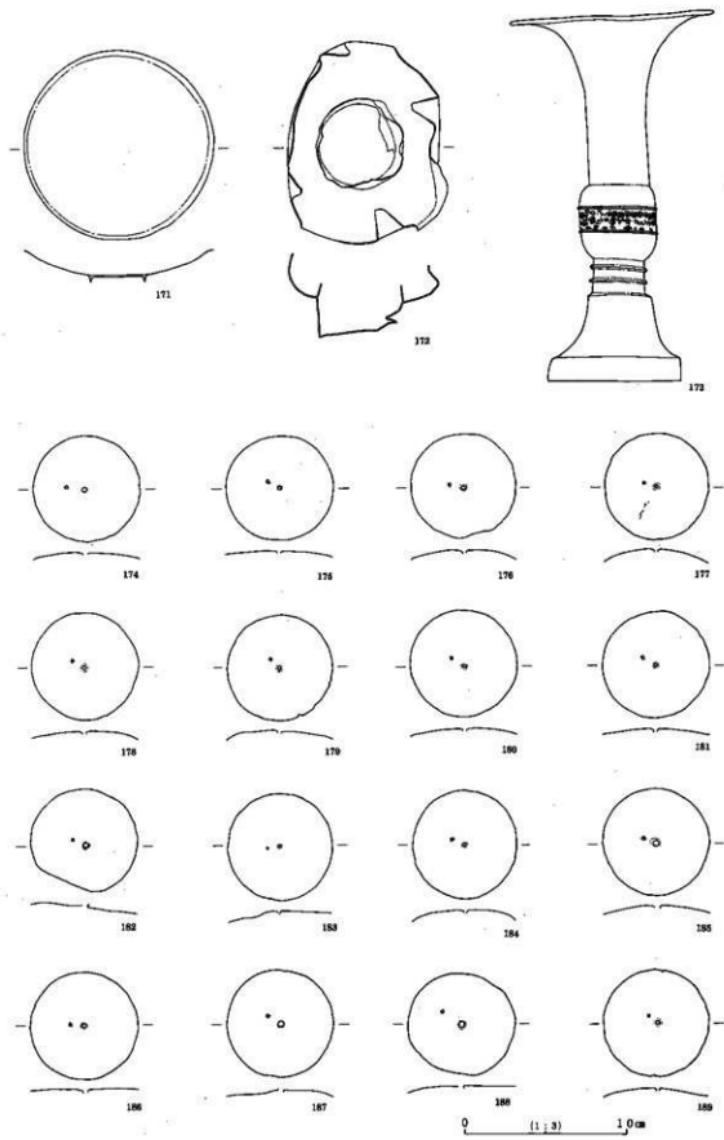
第17區 出土金属製品実測図



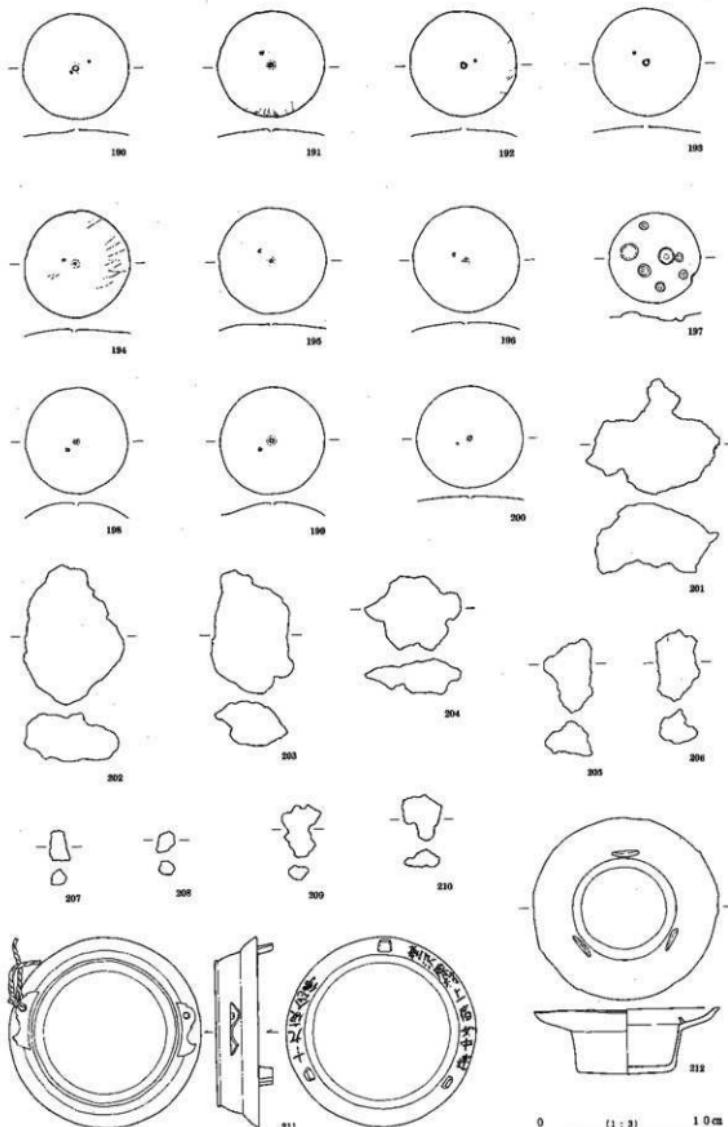
第18図 出土金属製品等実測図



第19図 出土金属製品実測図



第20圖 出土金属製品等実測図



第21図 出土金属製品実測図

第5表 出土金属製品一覧表

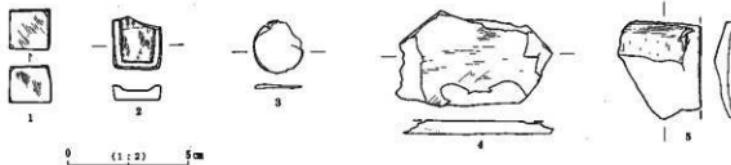
| 揮団番号  | 出土位置     | 器種  | 材質 | 特徴         |
|-------|----------|-----|----|------------|
| 16-1  | 1層       | 鎌   | 鉄  |            |
| 16-2  | 1層       | 架具留 | 鉄  |            |
| 16-3  | 1層       | 架具留 | 鉄  |            |
| 16-4  | 1層       | 架具  | 鉄  |            |
| 16-5  | 1層       | 架具  | 鉄  |            |
| 16-6  | F V・3層   | 刀子  | 鉄  |            |
| 16-7  | E VI・3層  | 箸   | 銅  |            |
| 16-8  | 1層       | 角釘  | 鉄  |            |
| 16-9  | B IV・3層  | 燭台  | 鉄  |            |
| 16-10 | C IV・4層  | 角釘  | 鉄  | 中央～先端欠損    |
| 16-11 | え-6Gr・1層 | 角釘  | 鉄  |            |
| 16-12 | B IV・3層  | 吊金具 | 鉄  | 先端欠損       |
| 16-13 | B II・4層  | 角釘  | 鉄  | 先端欠損       |
| 16-14 | B II・4層  | 角釘  | 鉄  | 中央～先端欠損    |
| 16-15 | B II・4層  | 角釘  | 鉄  | 頭部・先端欠損    |
| 16-16 | B II・4層  | 角釘  | 鉄  | 先端欠損       |
| 16-17 | B II・4層  | 角釘  | 鉄  | 中央で折損、先端欠損 |
| 16-18 | B II・4層  | 角釘  | 鉄  |            |
| 16-19 | A IV・1層  | 角釘  | 鉄  |            |
| 16-20 | 1層       | 角釘  | 鉄  |            |
| 17-21 | B V・1層   | 不明  | 鉄  |            |
| 17-22 | 内陣・3層    | 毛抜き | 鉄  | 中央で折損      |
| 17-23 | 内陣・3層    | 角釘  | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-24 | 1層       | 飾金具 | 鉄  |            |
| 17-25 | F VI・1層  | 鎌   | 鉄  | 半分欠損       |
| 17-26 | A II・1層  | 角釘  | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-27 | A II・1層  | 角釘  | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-28 | A III・3層 | 角釘  | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-29 | A II・1層  | 角釘  | 鉄  |            |
| 17-30 | B III・2層 | 角釘  | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-31 | A III・3層 | 角釘  | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-32 | F VI・1層  | 角釘  | 鉄  |            |
| 17-33 | B III・2層 | 角釘  | 鉄  |            |
| 17-34 | B III・2層 | 角釘  | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-35 | A III・3層 | 角釘  | 鉄  | 頭部・先端欠損    |
| 17-36 | F II・1層  | 角釘  | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-37 | F II・1層  | 角釘  | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-38 | F II・1層  | 角釘  | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-39 | F II・1層  | 角釘  | 鉄  |            |
| 17-40 | A IV・4層  | 角釘  | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-41 | A IV・4層  | 角釘  | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-42 | B III・1層 | 鉄鍋？ | 鉄  |            |
| 17-43 | B III・2層 | 鉄鍋？ | 鉄  |            |
| 17-44 | A IV・4層  | 角釘  | 鉄  |            |
| 17-45 | A IV・4層  | 角釘  | 鉄  | 先端欠損       |

|       |          |      |    |            |
|-------|----------|------|----|------------|
| 17-46 | F III・3層 | 留金具  | 鉄  |            |
| 17-47 | F IV・3層  | 縁金具  | 金銅 |            |
| 17-48 | F III・3層 | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-49 | A III・1層 | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-50 | F III・1層 | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-51 | F III・1層 | 不明鉄板 | 鉄  |            |
| 17-52 | F III・1層 | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-53 | F III・1層 | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-54 | F III・1層 | 角釘   | 鉄  | 先端欠損、中央で屈曲 |
| 17-55 | F V・4層   | 角釘   | 鉄  | 頭部・先端欠損    |
| 17-56 | B IV・3層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-57 | B IV・3層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-58 | B IV・3層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-59 | B IV・3層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-60 | B IV・3層  | 角釘   | 鉄  | 頭部欠損       |
| 17-61 | F VI・1層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-62 | F IV・1層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-63 | B IV・3層  | 角釘   | 鉄  | 頭部・先端欠損    |
| 17-64 | F IV・1層  | 角釘   | 鉄  | 頭部欠損       |
| 17-65 | F IV・1層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-66 | F IV・1層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-67 | F IV・1層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-68 | F IV・1層  | 角釘   | 鉄  |            |
| 17-69 | F VI・1層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-70 | F VI・1層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-71 | F VI・1層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-72 | F VI・1層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-73 | F IV・1層  | 吊箆台  | 鉄  | 孔2ヶ所       |
| 17-74 | B V・4層   | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-75 | B V・4層   | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-76 | B V・4層   | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-77 | B V・3層   | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-78 | B V・4層   | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-79 | B V・3層   | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-80 | B V・4層   | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-81 | B V・3層   | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-82 | B V・3層   | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-83 | B V・3層   | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-84 | B V・3層   | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 17-85 | B V・3層   | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 18-86 | 元-5Gr・1層 | 角釘   | 鉄  |            |
| 18-87 | B IV・3層  | 角釘   | 鉄  |            |
| 18-88 | A IV・3層  | 煙管   | 銅  | 潰れ         |
| 18-89 | F IV・3層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 18-90 | A II・3層  | 留金具  | 銅  |            |
| 18-91 | E IV・4層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |
| 18-92 | 1層       | 角釘   | 鉄  | 先端欠損       |

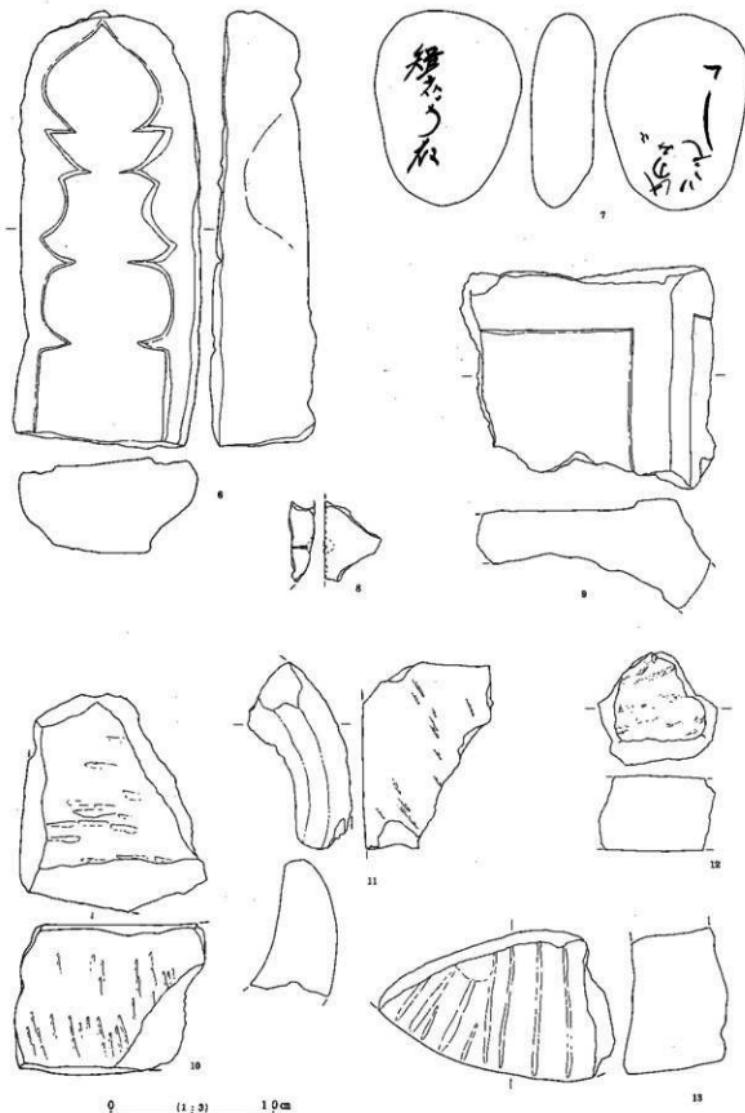
|        |          |      |    |          |
|--------|----------|------|----|----------|
| 18-93  | F V・1層   | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-94  | C II・4層  | 角釘   | 鉄  | 先端・頭部欠損  |
| 18-95  | D IV・3層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-96  | B I・1層   | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-97  | B I・1層   | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-98  | B I・1層   | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-99  | B I・1層   | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-100 | B I・1層   | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-101 | C IV・3層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-102 | C V・1層   | 角釘   | 鉄  | 先端欠損・焦土中 |
| 18-103 | F III・4層 | 角釘   | 鉄  |          |
| 18-104 | F IV・3層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-105 | B IV・3層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-106 | B IV・3層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-107 | F 2・3層   | 角釘   | 鉄  | 頭部欠損     |
| 18-108 | F II・3層  | 鈴    | 銅  | 繪柄小槌     |
| 18-109 | F IV・3層  | 角釘   | 鉄  |          |
| 18-110 | F IV・3層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-111 | F IV・3層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-112 | B III・1層 | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-113 | F III・1層 | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-114 | F III・1層 | 錆金具  | 銅  |          |
| 18-115 | B III・3層 | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-116 | B III・3層 | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-117 | B III・3層 | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-118 | B III・3層 | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-119 | B III・3層 | 吊金具  | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-120 | B III・3層 | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-121 | F IV・4層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-122 | B III・3層 | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-123 | B III・3層 | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-124 | B III・3層 | 吊金具  | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-125 | B IV・3層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-126 | B IV・3層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-127 | B IV・3層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-128 | B IV・4層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-129 | B IV・4層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-130 | B IV・4層  | 不明鉄板 | 鉄  |          |
| 18-131 | E VI・4層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-132 | E VI・4層  | 角釘   | 鉄  | 先端欠損     |
| 18-133 | C II・3層  | 不明銅板 | 銅  |          |
| 18-134 | A IV・1層  | 不明銅板 | 銅  |          |
| 18-135 | F IV・1層  | 不明鉄板 | 鉄  |          |
| 18-136 | F IV・1層  | 不明鉄板 | 鉄  |          |
| 18-137 | F V・1層   | 飾金具  | 金銅 | 毛彫り部分金   |
| 18-138 | お-1Gr    | 飾金具  | 金銅 | 毛彫り部分金   |
| 18-139 | B III・3層 | 鏹錢   | 銅  |          |

|        |             |       |     |  |
|--------|-------------|-------|-----|--|
| 18-140 | お - 4 Gr・1層 | 不明鉄板  | 鉄   |  |
| 18-141 | A V・3層      | 不明    | 銅   |  |
| 18-142 | A V・3層      | 不明鋼板  | 銅   |  |
| 18-143 | B II・8層     | 不明鋼板  | 銅   | 筒状   |
| 18-144 | F V・1層      | 不明鋼板  | 銅   |  |
| 18-145 | A V・3層      | 不明鋼板  | 銅   |  |
| 18-146 | 内陣・1層       | 飯食支台  | 金銅  | 表面金張   |
| 18-147 | 内陣・1層       | 燭台    | 銅   |  |
| 18-148 | い - 3 Gr・1層 | 鉄鍋?   | 鉄   |  |
| 18-149 | い - 4 Gr・1層 | 垂飾    | 金銅  | 表面金張、中央に白色ガラス小玉、幡部品か                                   |
| 18-150 | B II・3層     | 垂飾    | 金銅  | 鍾は銅製・垂飾は銅地金張。幡部品か。上部ガラス小玉3個、上より黄色・無色・青色                |
| 18-151 | B II・3層     | 垂飾    | 金銅  | 表面金張、幡部品か  |
| 18-152 | B II・3層     | 垂飾    | 金銅  | 表面金張、幡部品か  |
| 18-153 | 1層          | 縁金具   | 金銅  | 表裏面金張  |
| 18-154 | B II・3層     | 垂飾    | 金銅  | 表面金張、幡部品か  |
| 18-155 | B II・3層     | ガラス小玉 | ガラス | 垂飾部品。青色  |
| 18-156 | う - 4 Gr・1層 | 垂飾    | 金銅  | 表面金張、幡部品か  |
| 19-157 | 内陣・1層       | 垂飾    | 金銅  | 表面金張、幡部品か。1ガラス小玉20個。無色10個・緑色2個・青色6個・黄色2個               |
| 19-158 | 内陣・1層       | 垂飾    | 金銅  | 表面金張、幡部品か。ガラス小玉2個。青1個・緑色1個                             |
| 19-159 | 内陣・1層       | 垂飾    | 金銅  | 表面金張、幡部品か。網点は径1mmの管打ち。ガラス小玉、緑色2個・黄色1個・無色2個             |
| 19-160 | B II・1層     | 垂飾    | 金銅  | 表面金張、幡部品か  |
| 19-161 | 内陣・1層       | 垂飾    | 金銅  | 表面金張、幡部品か。ガラス小玉3個。無色1個・青色1個・黄色1個                       |
| 19-162 | 内陣・1層       | 垂飾    | 金銅  | 鍾部銅製、他は金張。幡部品か。網点は径1mmの管打ち。ガラス小玉青色2個・緑色2個・黄色3個・無色1個計8個 |
| 19-163 | 内陣・1層       | 垂飾    | 金銅  | 表面金張、幡部品か。ガラス小玉無色1個                                    |
| 19-164 | 内陣・1層       | 垂飾    | 金銅  | 鍾部銅製、他は銅地金張。幡部品。ガラス小玉7個。青色2個・黄色2個・無色2個・緑色1個            |
| 19-165 | 内陣・1層       | 垂飾    | 金銅  | 表面金張、幡部品か  |
| 19-166 | い - 3 Gr・1層 | 垂飾    | 金銅  | 表面金張、幡部品か  |
| 19-167 | 内陣・1層       | 垂飾    | 金銅  | 表面金張、幡部品か  |
| 19-168 | 内陣・1層       | 垂飾    | 金銅  | 表面金張、幡部品か  |
| 19-169 | 内陣・1層       | 垂飾    | 金銅  | 表面金張、幡部品か。ガラス小玉4個。無色2個・黄色1個・緑色1個                       |
| 19-170 | 内陣・1層       | 垂飾    | 金銅  | 表面金張、幡部品か。ガラス小玉10個。緑色1個・無色4個・青色4個・黄色4個                 |
| 20-171 | 内陣・1層       | 灯明皿   | 銅   | 内面に炭化物付着   |
| 20-172 | 内陣・1層       | 燭台    | 銅   | 熱を受け、大きく変形   |
| 20-173 | 内陣・1層       | 花瓶    | 銅   | 熱を受け、1部破損  |
| 20-174 | 内陣・1層       | 垂飾    | 銅   | 孔大小2ヶ所   |
| 20-175 | 内陣・1層       | 垂飾    | 銅   | 孔大小2ヶ所   |

|        |          |    |   |                   |
|--------|----------|----|---|-------------------|
| 20-176 | 内陣・1層    | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所            |
| 20-177 | 内陣・1層    | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所            |
| 20-178 | 内陣・1層    | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所            |
| 20-179 | 内陣・1層    | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所            |
| 20-180 | 内陣・1層    | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所            |
| 20-181 | 内陣・1層    | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所            |
| 20-182 | 内陣・1層    | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所。1ヶ所屈曲      |
| 20-183 | 内陣・1層    | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所。歪み著しい      |
| 20-184 | 内陣・1層    | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所            |
| 20-185 | 内陣・1層    | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所            |
| 20-186 | 内陣・1層    | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所            |
| 20-187 | 内陣・1層    | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所            |
| 20-188 | 内陣・1層    | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所            |
| 20-189 | 内陣・1層    | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所            |
| 21-190 | 内陣・1層    | 垂飾 | 銅 | 孔大小3ヶ所            |
| 21-191 | 内陣・1層    | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所            |
| 21-192 | 内陣・1層    | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所            |
| 21-193 | 内陣・1層    | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所            |
| 21-194 | 内陣・1層    | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所            |
| 21-195 | 内陣・1層    | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所            |
| 21-196 | 内陣・1層    | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所            |
| 21-197 | 内陣・1層    | 不明 | 銅 |                   |
| 21-198 | いー3Gr・1層 | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所            |
| 21-199 | えー3Gr・1層 | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所            |
| 21-200 | B II・1層  | 垂飾 | 銅 | 孔大小2ヶ所            |
| 21-201 | B V・4層   | 鉛滓 |   |                   |
| 21-202 | F IV・4層  | 鉛滓 |   |                   |
| 21-203 | F IV・4層  | 鉛滓 |   |                   |
| 21-204 | B V・4層   | 鉛滓 |   |                   |
| 21-205 | F IV・4層  | 鉛滓 |   |                   |
| 21-206 | E IV・3層  | 鉛滓 |   |                   |
| 21-207 | B V・3層   | 鉛滓 |   |                   |
| 21-208 | B VI・3層  | 鉛滓 |   |                   |
| 21-209 | F III・1層 | 鉛滓 |   |                   |
| 21-210 | B V・3層   | 鉛滓 |   |                   |
| 21-211 | 内陣・採集    | 鉢  | 銅 | 刻字「十九夜念佛・塩沢上宿女中連」 |
| 21-212 | 内陣・1層    | 燈台 | 鉄 | 内面受部に突起3個         |



第22図 出土石製品実測図



第23図 出土石製品実測図



第24図 出土石製品実測図



第25圖 出土石製品実測図

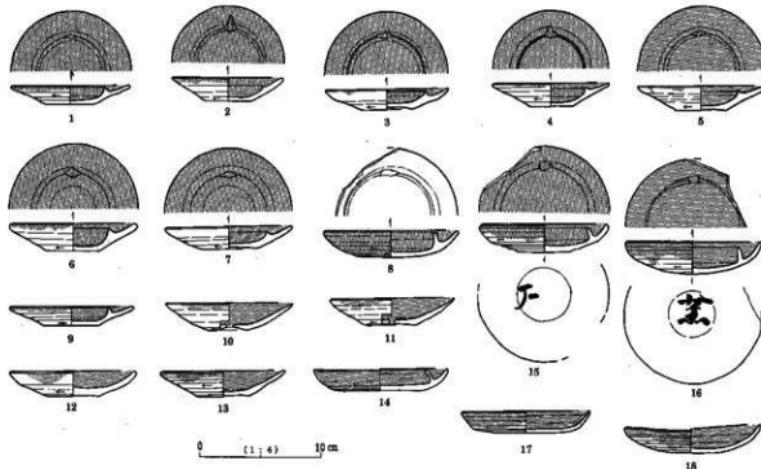


第26図 出土石製品実測図

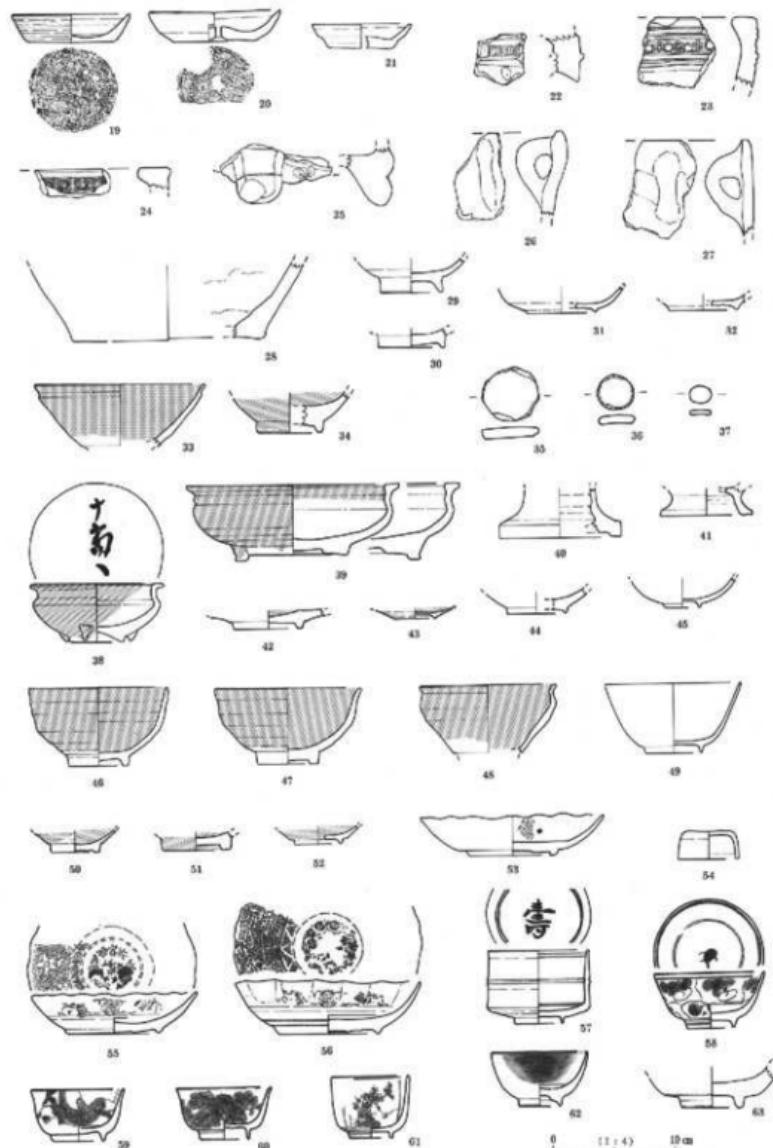
第6表 出土石製品一覧表

| 挿図番号  | 出土位置      | 器種      | 材質    | 特徴             |
|-------|-----------|---------|-------|----------------|
| 22-1  | B VI・3層   | 砥石      | 流紋岩   | 6面砥            |
| 22-2  | E IV・3層   | 硯       | 砂岩    | 海部境で欠損         |
| 22-3  | B II・3層   | 碁石      | 粘板岩   | 欠損著しい          |
| 22-4  | D V・1層    | 硯       | 粘板岩   |                |
| 22-5  | E III・4層  | 硯       | 粘板岩   |                |
| 23-6  | F II・1層   | 一石五輪塔   | 輝石安山岩 |                |
| 23-7  | E VI・1層   | 墨書き石    | 安山岩   | 表裏2面に墨書        |
| 23-8  | C IV・3層   | 石臼      | 輝石安山岩 |                |
| 23-9  | F IV・4層   | 宝篋印塔    | 安山岩   | 屋根下部           |
| 23-10 | D IV・4層   | 五輪(地輪)  | 輝石安山岩 |                |
| 23-11 | F II・4層   | 石摺鉢     | 輝石安山岩 | 表面に石鑿痕         |
| 23-12 | F II・4層   | 台石      | 輝石安山岩 | 両面に使用擦過痕、光沢    |
| 23-13 | F IV・4層   | 石臼      | 輝石安山岩 | 側面に石鑿痕         |
| 24-14 | B IV・3層   | 石摺鉢     | 安山岩   |                |
| 24-15 | C V・3層    | 擦り石     | 硬質砂岩  | 稜を中心に使用擦過痕、光沢  |
| 24-16 | F III・4層  | 台石      | 輝石安山岩 | 両面に使用擦過痕、光沢    |
| 24-17 | F IV・4層   | 石臼      | 輝石安山岩 | 上白             |
| 24-18 | B II・7層   | 凹み石     | 安山岩   |                |
| 24-19 | お-5 Gr・1層 | 縁石      | 凝灰岩   |                |
| 24-20 | F IV・4層   | 五輪(水輪)  | 輝石安山岩 | 表面に石鑿痕         |
| 24-21 | D VI・3層   | 敲き石・擦り石 | 輝石安山岩 | 端辺部に使用敲打痕・擦過痕  |
| 24-22 | D II・4層   | 凹み石     | 安山岩   |                |
| 24-23 | F IV・3層   | 擦り石     | 輝石安山岩 | 前面に使用擦過痕・磨耗痕   |
| 24-24 | E III・3層  | 擦り石     | 輝石安山岩 | 稜を中心に使用擦過痕、光沢  |
| 25-25 | F II・4層   | 石臼      | 輝石安山岩 |                |
| 25-26 | C V・3層    | 敲き石     | 輝石安山岩 | 端部に使用敲打痕       |
| 25-27 | D VI・3層   | 擦り石     | 輝石安山岩 | 全面に使用擦過・磨耗痕    |
| 25-28 | D VI・3層   | 擦り石     | 輝石安山岩 | 全面に使用擦過・磨耗痕    |
| 25-29 | D VI・3層   | 擦り石     | 輝石安山岩 | 端部を中心に使用痕      |
| 25-30 | B IV・4層   | 礫石・台石   | 輝石安山岩 | 辺部を打ち欠いて整形     |
| 25-31 | E III・3層  | 擦り石     | 輝石安山岩 | 端辺部に使用擦過・磨耗痕   |
| 25-32 | C V・3層    | 擦り石     | 安山岩   | 端辺部に使用痕        |
| 25-33 | C V・3層    | 擦り石     | 輝石安山岩 | 端辺部に使用擦過痕      |
| 25-34 | D VI・3層   | 擦り石     | 輝石安山岩 | 端辺部に使用痕        |
| 25-35 | D VI・3層   | 敲き石     | 輝石安山岩 | 端辺部に使用敲打・擦過痕   |
| 25-36 | F IV・3層   | 砥石・擦り石  | 輝石安山岩 | 砥面2面。熱を受け変色    |
| 25-37 | D VI・3層   | 砥石・擦り石  | 砂岩    | 砥面2面。端辺部に使用擦過痕 |
| 25-38 | D VI・3層   | 砥石・擦り石  | チャート  | 端辺部に使用擦過痕      |
| 25-39 | F IV・3層   | 擦り石     | チャート  | 端辺部を主に使用痕      |
| 25-40 | F IV・3層   | 擦り石・砥石  | 輝石安山岩 | 全面に使用痕         |
| 25-41 | D VI・3層   | 擦り石     | 花崗岩   | 全面に使用擦過痕・磨耗痕   |
| 25-42 | B VI・1層   | 敲き石     | 輝石安山岩 | 端辺部に使用痕、熱を受け変色 |
| 25-43 | C V・3層    | 擦り石・敲き石 | チャート  | 端辺部敲打痕・擦過痕     |
| 25-44 | D IV・3層   | 敲き石・擦り石 | 花崗岩   | 端辺部敲打痕・擦過痕     |
| 25-45 | F IV・3層   | 砥石・擦り石  | 砂岩    | 全面に使用痕         |

|       |           |        |        |                 |
|-------|-----------|--------|--------|-----------------|
| 25-46 | D VI・3層   | 砥石・敲き石 | 安山岩    | 端辺部を主に敲打・擦過痕    |
| 26-47 | B VI・1層   | 砥石     | 角閃石安山岩 |                 |
| 26-48 | D VI・3層   | 擦り石    | 輝石安山岩  | ほぼ全面に使用擦過痕      |
| 26-49 | F VI・1層   | 擦り石    | 安山岩    | 全面に擦過痕・熱を受け一部変色 |
| 26-50 | お-5 Gr・1層 | 砥石・敲き石 | 砂石     | 端部に敲打痕。砥面2面     |
| 26-51 | D VI・3層   | 敲き石    | 石英安山岩  | 端辺部を主に使用敲打痕・擦過痕 |
| 26-52 | D VI・3層   | 擦り石    | 輝石安山岩  | 端辺部を主に使用擦過痕     |
| 26-53 | D VI・3層   | 砥石・擦り石 | 砂岩     | 端辺部に使用擦過痕       |
| 26-54 | C V・3層    | 砥石・擦り石 | 硬質砂岩   | 端辺部に使用擦過痕       |
| 26-55 | C V・3層    | 砥石・擦り石 | 砂岩     | 砥面2面。端辺部に使用擦過痕  |
| 26-56 | D VI・3層   | 擦り石    | 角閃石安山岩 | 端辺部を主に使用擦過痕・磨耗痕 |
| 26-57 | B VI・1層   | 砥石     | 角閃石安山岩 |                 |
| 26-58 | F VI・1層   | 擦り石    | 石英安山岩  | ほぼ全面に使用擦過痕      |
| 26-59 | D VI・3層   | 砥石・擦り石 | 輝石安山岩  | 鉄錆付着            |
| 26-60 | C V・3層    | 砥石     | 輝石安山岩  | 6面使用            |
| 26-61 | F VI・1層   | 砥石・敲き石 | 安山岩    | 端辺部に敲打痕         |
| 26-62 | D VI・3層   | 擦り石    | 輝石安山岩  | 全面に使用擦過痕・磨耗痕    |
| 26-63 | F IV・3層   | 砥石・擦り石 | 花崗岩    | 端辺部に使用擦過痕       |
| 26-64 | F IV・3層   | 砥石・擦り石 | 凝灰岩    | 端部に使用擦過痕        |
| 26-65 | C V・3層    | 擦り石    | 砂岩     | 全面に使用擦過痕        |
| 26-66 | C V・3層    | 擦り石    | 輝石安山岩  | 全面に使用痕          |
| 26-67 | C V・3層    | 擦り石    | 輝石安山岩  | 全面に使用擦過痕        |
| 26-68 | C V・3層    | 砥石     | 輝石安山岩  |                 |
| 26-69 | D VI・3層   | 擦り石    | 輝石安山岩  | 全面に使用痕。鉄錆付着     |
| 26-70 | F IV・3層   | 擦り石    | 硬質砂岩   | 端辺部に擦過痕。鉄錆付着    |



第27図 出土灯明皿実測図



第28图 出土陶器等实测图



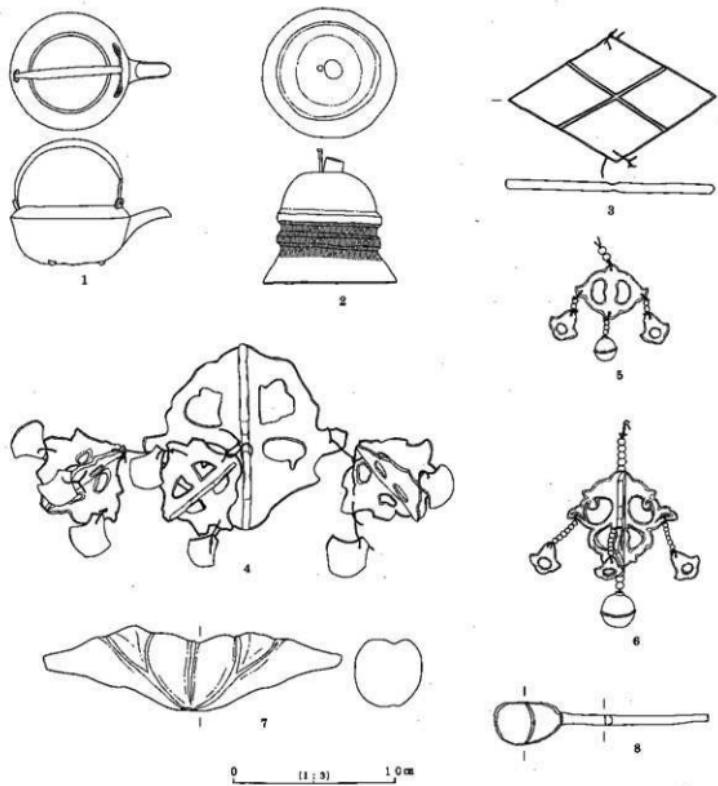
第29图 出土陶器等实测图

第7表 出土陶器等一覧表

| 挿図番号  | 出土位置      | 時代   | 種類    | 器種   | 特徴  |
|-------|-----------|------|-------|------|---|
| 27-1  | 内陣・採集     | 近代   | 陶器    | 灯明皿  | 外面口縁・内面ロクロナデ。外面体部回転箝削り。灰粒。                |
| 27-2  | 内陣・採集     | 近代   | 陶器    | 灯明皿  | 外面口縁・内面ロクロナデ。外面体部回転箝削り。灰粒。                |
| 27-3  | 内陣・採集     | 近代   | 陶器    | 灯明皿  | 外面口縁・内面ロクロナデ。外面体部回転箝削り。灰粒。                |
| 27-4  | 内陣・採集     | 近代   | 陶器    | 灯明皿  | 外面口縁・内面ロクロナデ。外面体部回転箝削り。灰粒。                |
| 27-5  | 内陣・採集     | 近代   | 陶器    | 灯明皿  | 外面口縁・内面ロクロナデ。外面体部回転箝削り。灰粒。                |
| 27-6  | 内陣・採集     | 近代   | 陶器    | 灯明皿  | 外面口縁・内面ロクロナデ。外面体部回転箝削り。灰粒。                |
| 27-7  | 内陣・採集     | 近代   | 陶器    | 灯明皿  | 外面口縁・内面ロクロナデ。外面体部回転箝削り。灰粒。                |
| 27-8  | A III・1層  | 近世後期 | 陶器    | 灯明皿  | 外面口縁・内面ロクロナデ。外面体部回転箝削り。鉄粒。                |
| 27-9  | 内陣・採集     | 近代   | 陶器    | 灯明皿  | 外面口縁・内面ロクロナデ。外面体部回転箝削り。灰粒。                |
| 27-10 | 内陣・採集     | 近代   | 陶器    | 灯明皿  | 外面口縁・内面ロクロナデ。外面体部回転箝削り。灰粒。底部焼成後穿孔。        |
| 27-11 | 内陣・採集     | 近代   | 陶器    | 灯明皿  | 外面口縁・内面ロクロナデ。外面体部回転箝削り。灰粒。底部焼成後穿孔。        |
| 27-12 | 内陣・採集     | 近代   | 陶器    | 灯明皿  | 外面口縁・内面ロクロナデ。外面体部回転箝削り。灰粒。                |
| 27-13 | 内陣・採集     | 近代   | 陶器    | 灯明皿  | 外面口縁・内面ロクロナデ。外面体部回転箝削り。灰粒。                |
| 27-14 | E V・1層    | 近世後期 | 陶器    | 灯明皿  | 外面口縁・内面ロクロナデ。外面体部回転箝削り。鉄粒。外面底部墨書「不明」。     |
| 27-15 | E.V・1層    | 近代後期 | 陶器    | 灯明皿  | 外面口縁・内面ロクロナデ。外面体部回転箝削り。鉄粒。外面底部墨書「薰」。      |
| 27-16 | B II・1層   | 近世後期 | 陶器    | 灯明皿  | 外面口縁・内面ロクロナデ。外面体部回転箝削り。鉄粒。外面底部墨書「薰」。      |
| 27-17 | B V・1層    | 近世後期 | 陶器    | 灯明皿  | 外面口縁・内面ロクロナデ。外面体部回転箝削り。鉄粒。                |
| 27-18 | 内陣・1層     | 近代後期 | 陶器    | 灯明皿  | 外面口縁・内面ロクロナデ。外面体部回転箝削り。鉄粒。                |
| 28-19 | F III・3層  | 中世   | 土師質土器 | 灯明皿  | 外面ロクロヨコナデ。口縁内外黒色炭化物付着。底部回転糸切。             |
| 28-20 | B V・3層    | 中世   | 土師質土器 | 灯明皿  | 内外面ロクロヨコナデ。口縁内外黒色炭化物付着。底部回転糸切。底部中央部焼成後穿孔。 |
| 28-21 | B IV・4層   | 中世   | 土師質土器 | 灯明皿  | 内外面ロクロヨコナデ。口縁内外黒色炭化物付着。底部回転糸切。            |
| 28-22 | B V・3層    | 中世   | 瓦質土器  | 手焙   |   |
| 28-23 | B II・トレンチ | 中世   | 瓦質土器  | 手焙   | 内面施横ナデ。                                   |
| 28-24 | B II・トレンチ | 中世   | 瓦質土器  | 手焙   | 口縁端部・内面施ミガキ。                              |
| 28-25 | D V・3層    | 中世   | 瓦質土器  | 手焙   |   |
| 28-26 | C V・3層    | 中世   | 瓦質土器  | 土鍋   |   |
| 28-27 | F V・3層    | 中世   | 瓦質土器  | 土鍋   |   |
| 28-28 | 内陣・6層     | 中世   | 常滑    | 甕    | 内外面ナデ。                                    |
| 28-29 | B VI・3層   | 近世   | 瀬戸美濃  | 碗    | 灰粒。全面釉。                                   |
| 28-30 | B IV・3層   | 中世   | 古瀬戸   | 碗    | 灰粒。全面釉。                                   |
| 28-31 | F III・3層  | 中世前半 | 古瀬戸   | 皿    | 灰粒。全面釉。                                   |
| 28-32 | E V・3層    | 中世全半 | 古瀬戸   | 皿    | 灰粒。全面釉。                                   |
| 28-33 | B IV・4層   | 中世   | 天目    | 茶碗   |   |
| 28-34 | B IV・6層   | 中世   | 青磁    | 碗    |   |
| 28-35 | F III・3層  | 中世   | 土鍋    | 土製円板 |   |
| 28-36 | F III・3層  | 中世   | 土鍋    | 土製円板 | 周囲を削り整形。                                  |

|       |           |      |      |      |                  |
|-------|-----------|------|------|------|------------------|
| 28-37 | B IV・4層   | 中世   | 天目   | 土製円板 | 周囲を削り整形。         |
| 28-38 | 内陣・1層     | 近世後期 | 青磁   | 香炉   | 足3本。内面に墨書「+高〇」   |
| 28-39 | 内陣・1層     | 近世末期 | 陶器   | 香炉   | 足3本。高台部をのぞき鉄軸。   |
| 28-40 | A IV・3層   | 近世後期 | 瀬戸美濃 | 瓶子   | 高台内をのぞき鉄軸。       |
| 28-41 | A IV・1層   | 近世後期 | 陶器   | 瓶子   | 鉄軸。              |
| 28-42 | B IV・3層   | 近世後期 | 瀬戸美濃 | 皿    | 鉄軸。              |
| 28-43 | B V・3層    | 近世後期 | 陶器   | 灯明皿  | 内面鉄軸。            |
| 28-44 | B III・3層  | 近世後期 | 瀬戸美濃 | 碗    | 灰軸。              |
| 28-45 | A IV・1層   | 近代?  | 瀬戸美濃 | 碗    | 灰軸。              |
| 28-46 | C IV・4層   | 近世後期 | 瀬戸天目 | 碗    |                  |
| 28-47 | B V・4層    | 近世後期 | 瀬戸天目 | 碗    |                  |
| 28-48 | B V・3層    | 近世後期 | 瀬戸天目 | 碗    |                  |
| 28-49 | A III・3層  | 近世末期 | 肥前系  | 碗    | 現川か。             |
| 28-50 | F III・3層  | 近世後期 | 瀬戸天目 | 碗    |                  |
| 28-51 | E II・3層   | 近世後期 | 瀬戸天目 | 碗    |                  |
| 28-52 | い-5 Gr・1層 | 近代?  | 天目   | 碗    | 高台部を除き施釉。高台内に墨書。 |
| 28-53 | う-4 Gr・1層 | 近世後期 | 肥前系  | 皿    | 灯明皿として利用         |
| 28-54 | 内陣・1層     | 近世後期 | 陶器   | 蓋    | 灰軸。              |
| 28-55 | 内陣・1層     | 近世後期 | 肥前系  | 皿    | 灯明皿として利用         |
| 28-56 | 内陣・1層     | 近世後期 | 肥前系  | 皿    | 灯明皿として利用         |
| 28-57 | C I・1層    | 近世?  | 肥前系  | 碗    | 内面に眞須で「寿」。       |
| 28-58 | A IV・1層   | 近世末期 | 肥前系  | 碗    | 近世末期~近代          |
| 28-59 | 内陣・1層     | 近世末期 | 肥前系  | 碗    |                  |
| 28-60 | 内陣・1層     | 近世後期 | 肥前系  | 碗    |                  |
| 28-61 | 内陣・1層     | 近世末期 | 肥前系  | 碗    | 近世末期~近代          |
| 28-62 | 内陣・1層     | 近世後期 | 肥前系  | 碗    |                  |
| 28-63 | お-5 Gr・1層 | 近世中期 | 肥前系  | 碗    |                  |
| 29-64 | 内陣・1層     | 近世後期 | 磁器   | 瓶子   |                  |
| 29-65 | B II・1層   | 近世後期 | 磁器   | 仏飯坏  |                  |
| 29-66 | 内陣・1層     | 近世後期 | 肥前系  | 碗    |                  |
| 29-67 | 内陣・1層     | 近世後期 | 肥前系  | 碗    |                  |
| 29-68 | 内陣・採集     | 近代以降 | 磁器   | 香炉   | 足3本。             |
| 29-69 | 内陣・採集     | 近代以降 | 磁器   | 香炉   | 足3本。             |
| 29-70 | 内陣・1層     | 近代   | 磁器   | 香炉   | 足3本。             |
| 29-71 | 内陣・採集     | 近代   | 瓦質土器 | 火炉   | 獸面突起2ヶ所。         |
| 29-72 | 内陣・採集     | 近代   | 瓦質土器 | 炬鍵   | 足4本              |
| 29-73 | 内陣他・1層    | 近代以降 | 肥前系  | 筒形花入 |                  |
| 29-74 | E IV・1層   | 近代   | 青磁   | 筒形花入 |                  |
| 29-75 | 内陣・1層     | 近代   | 磁器   | 植木鉢  | 足3本。中央に焼成前穿孔。    |
| 29-76 | 内陣・1層     | 近代   | 磁器   | 仏飯坏  |                  |
| 29-77 | 内陣・1層     | 近代   | 磁器   | 香炉?  | 足3本。             |
| 29-78 | 内陣・採集     | 近代   | 磁器   | 碗    |                  |
| 29-79 | 内陣・採集     | 近代   | 磁器   | 碗    | 灯明皿として利用。        |
| 29-80 | 内陣・採集     | 近代以降 | 磁器   | 碗    |                  |
| 29-81 | 内陣・1層     | 近代以降 | 陶器   | 碗    | 高台部以外灰軸。         |

|       |           |      |    |     |      |
|-------|-----------|------|----|-----|------|
| 29-82 | 内陣・採集     | 近代以降 | 磁器 | 碗   |      |
| 29-83 | 内陣・1層     | 近代   | 磁器 | 碗   |      |
| 29-84 | 内陣・採集     | 近代以降 | 青磁 | 碗   |      |
| 29-85 | 内陣・1層     | 近代以降 | 磁器 | 碗   |      |
| 29-86 | い-5 Gr・1層 | 近代以降 | 陶器 | 碗   | 素焼き。 |
| 29-87 | 内陣・1層     | 近代以降 | 陶器 | 觀音像 | 彩色。  |



第30図 その他の出土遺物実測図 (1のみ1/6、網点は金塗布範囲)

第8表 その他の出土遺物一覧表

| 挿図番号 | 出土位置           | 時代   | 種類 | 器種 | 特徴                           |
|------|----------------|------|----|----|------------------------------|
| 30-1 | 内陣・採集          | 近世以降 | 鉄  | 鏡子 | 足3本                          |
| 30-2 | 内陣・採集<br>内陣・1層 | 近世以降 | 木  | 飾具 | 他に同一6個体。<br>全面に漆塗、中央部金塗料の塗布。 |

|      |                |      |   |    |                                  |
|------|----------------|------|---|----|----------------------------------|
| 30-3 | 内陣・採集<br>内陣・1層 | 近世以降 | 木 | 飾具 | 他に同一60枚。天蓋垂飾。<br>全面に塗り後、金漆料の塗布。  |
| 30-4 | 内陣・採集<br>内陣・1層 | 近世以降 | 木 | 飾具 | 他に同一38個体。天蓋垂飾。<br>全面に塗り後、金漆料の塗布。 |
| 30-5 | 内陣・採集          | 近代以降 | 木 | 飾具 | 他に同一8個体。天蓋垂飾。全面に金塗料の塗布。          |
| 30-6 | 内陣・採集          | 近代以降 | 木 | 飾具 | 他に同一13個体。天蓋垂飾。全面に金塗料の塗布。         |
| 30-7 | 内陣・採集          | 近代以降 | 木 | 飾具 | 全面に金塗料の塗布。                       |
| 30-8 | 内陣・1層          | 近世以降 | 木 | 匙  |                                  |

## 第IV章 まとめ

野沢館跡薬師寺遺跡の調査は、2月から3月の確認調査を経て、4月より本調査に入り、桜の花が散りきらない4月末に現場での調査を終了した。調査は天候にも恵まれ、予定より2週間ほど早く終了することができた。薬師寺本堂は、現存する本堂建築の中で、前山貞祥寺（1687年）・平尾守芳院本堂（1697年）・跡部西方寺（1706年）に次ぐ1707年に建築されたことが判明し、急速現存する本堂より調査することとなった。調査は、本堂調査、基壇調査、基壇下調査という流れで行った。

### 薬師寺の変遷

- 奈良時代に字跡部前（現野沢西友の北西部）に真言宗の寺として創建される。（伝承）
- 平安時代末期の久安6年（1150年）に再建される。再建は当時勢力を持っていた野沢氏と推定される。再建時には、大東寺（大道寺として地名残存）・西光寺（地名残存）・地蔵院（地名残存）・延命院・真蔵院からなる7堂伽藍の大寺院であった。薬師寺を含めた7堂は当時野沢氏の居館址であった野沢館を取り巻くように配されていた。
- 中世前期13世紀初頭に字北仁田（現南部給食センター東側）に鬼門守護のために移転される。移転は伴野荘の地頭職にいた小笠原長清・伴野時長父子と考えられる。この地に移転後何回か洪水により流失したという伝承がある。
- 17世紀代、野沢館がその機能を失うのに伴い、薬師寺は字屋敷の現位置に移転する。中世には園地であった場所で、当時は沼地化していたと推測される。先ず水を抜き、土堤を築き、千曲川より河原石を運び、基礎部分を構築している。この基礎部分には付近にあったと思われる五輪塔・宝鏡印塔の部品や石臼・擂鉢なども投げ込まれていた。そして現在よりひとまわり小さな御堂が建立されている。この御堂の礎石は現在の本堂の礎石より40cmほど下方で一部が検出された。（第8図参照）
- 17世紀後半、御堂が水没したために、さらに土砂を盛り上げ、現在の本堂とほぼ同じ規模の堂が再建される。その際、地鎮のために四匁豆板銀（当時1両相当）が内陣主柱礎石付近に埋納されたと考えられる。礎石には当時建築に携わったと考えられる大工の書き記した墨書き記号と「十」字の墨線（第2表・写真図版参照）が残存しているものが見つけられた。
- 17世紀後半、再建後間もなく、内陣が火元と考えられる火災により、内陣・外陣・書院・位牌堂など堂中央～東側にかけて焼失する。礎石に残存する柱の焦げ跡（写真図版参照）などから、かなりの大火であったと想像される。
- 1707年（宝永4年・現存する須弥壇裏書年号）に、醫王山薬師寺として再建される。礎石は焼失前のものをそのまま利用したものがほとんどであった。また礎石上で柱の焦げ跡と5～10cm程度南側にずらして建っていた柱も何本か見つけられた。

- ・近世後半から近代にかけて何回か小規模な火災にあったと考えられる。特に、本堂入口から東側旧炬燵付近を主とする火災は割と規模が大きかったと考えられる。また位牌堂と内陣境付近を主とする火災は小規模でぼや程度であったと考えられる。この付近を主とする火災は他にも数回あったらしく焦土層が形成されていた。
- ・瀧縁と位牌堂西側が増築されているか時期は不明である。また修理は頻繁に行われていたようである。特に西北部と東北部では柱が浮いたための接木や渡し、楔を打ち込んだ箇所が見受けられた。
- ・1999年2月、再建から292年、改築のため本堂取り壇となる。

#### 調査の成果

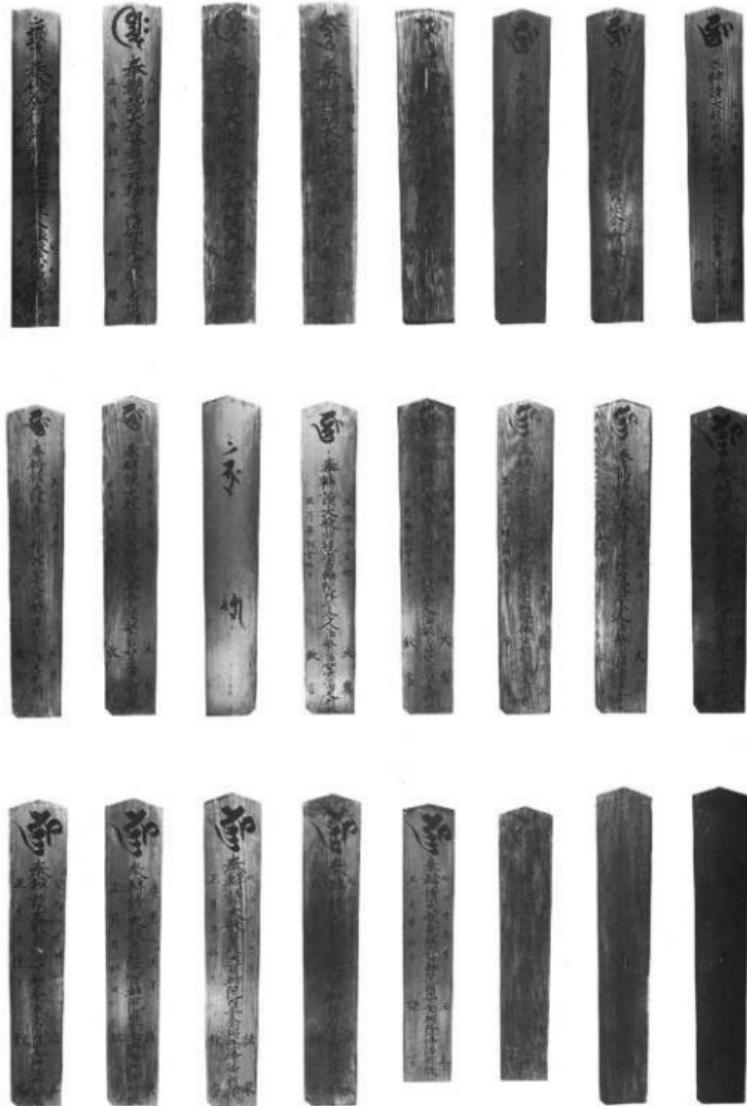
中世にこの地は、野沢館に付随する園池のあとであったと考えられ、薬師寺が移転してくる近世前期までは沼沢の池として存在していたようである。基壇構築の際に水を抜いたと考えられるが、完全に抜くことはできず、泥沼の中に河原石を投げ込んでいる。第4層の河原礫下辺部は泥にめり込んで検出されている。この川原礫直上に建立された御堂の存続期間は短く、焼失した痕跡はないものの、地形的理由から大雨の度に水没したと考えられる。頻繁に水没を繰り返すために御堂は取り壇され、基壇の嵩上げを行って新しい堂が建てられたと考えられる。

出土した遺物は、本堂の内陣内採集遺物と、基壇中出土遺物、中世池面出土遺物とに分けられる。

第1層は表土・焦土で、300年間の歴史を物語る遺物が多量に出土した。出土した遺物は近世中期から現代までのもので、性格上現代に属すると考えられるものは記載を省かせていただいた。第2・3・4・5・6・7・8層は基壇構築土で、4層は河原礫層・7・8層は土堤である。出土した遺物は中世から近世までのもので、中世遺物は混入したものと考えられる。土鍋片とかわらけ片は掲載できなかったものがコンテナに一杯ほどある。また基壇構築土中より製鉄関連の坩埚や鉱滓が出土しており帰属時期を含め、性格が不明である。第9・10層は中世の池の跡で、かわらけ・土鍋を中心とする中世の遺物が出土した。他に本書に掲載できなかった遺物をここで紹介しておきたい。近世瀬戸天目破片36点、近世灯明皿破片14点、近世鐵釉壷破片15点、近世-近代土瓶破片36点、近代彩色土製人形破片12点、近世瀬戸系壷・碗破片14点、近世肥前系皿・碗破片94点、近世手焙破片49点、近代御守り札1点、近世払子1点、近代不明木製品4点、現代すり鉢1点、「浅間大神御祈禱璽」札版本1点、「浅間大神盜賊除道切御祈禱璽」札版本1点などである。

中世と近世の生活面は、現在の生活面とほとんど変わらない。そのため調査により確認できる構造は深度があるものなど限られたものだけで、今回のように近世の生活面が調査できる例はほとんどない。これは寺院という特殊性もあるが、得られた成果は、佐久市の近世寺院を考える上でかなり重要なものであった。ただ取り壇し前の本堂建築の調査をもう少し詳細にすべきであったというのが反省点である。

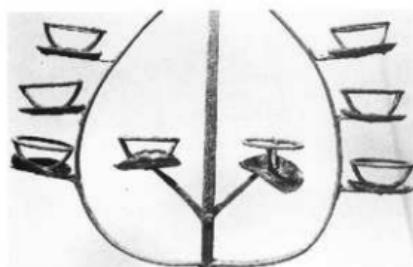
最後に、調査に携わった発掘調査員、調査に理解を示しご協力をいただいた宗教法人薬師寺の住職の窪田氏と禮家の皆様、青木屋建設(株)および出澤潔設計事務所・安井建設(株)の皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。



新所本札



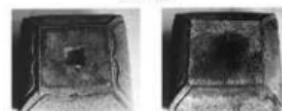
本堂内陈列采集遗物



造台瓦クローズアップ



入口磧石



入口磧石



鬼瓦



不明瓦



圓柱磧石



鬼瓦



軒瓦



軒瓦は近代



古119



古120



古121



古122



古123



古124



古125



古126



古127



古128



古129



古130

出土古錢 (1:1)



古1



古2



古3



古4



古5



古6



古7



古8



古9



古10



古11



古12



古13



古14



古15



古16



古17



古18



古19



古20



古21



古22



古23



古24



古25



古26

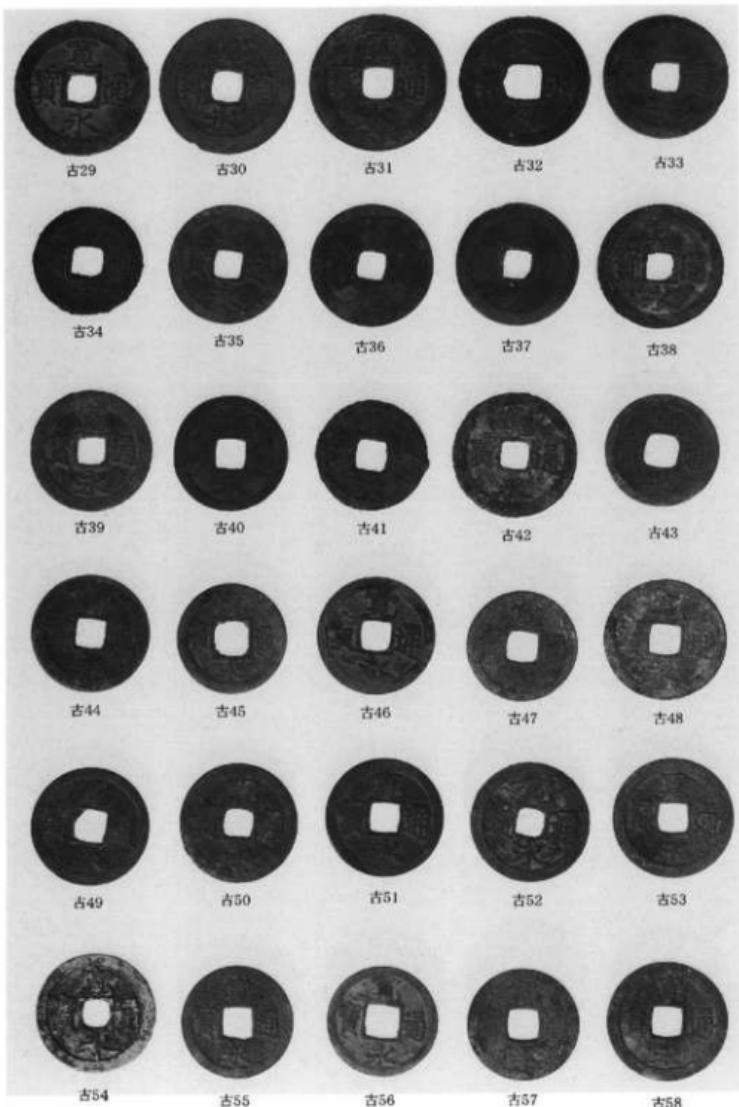


古27

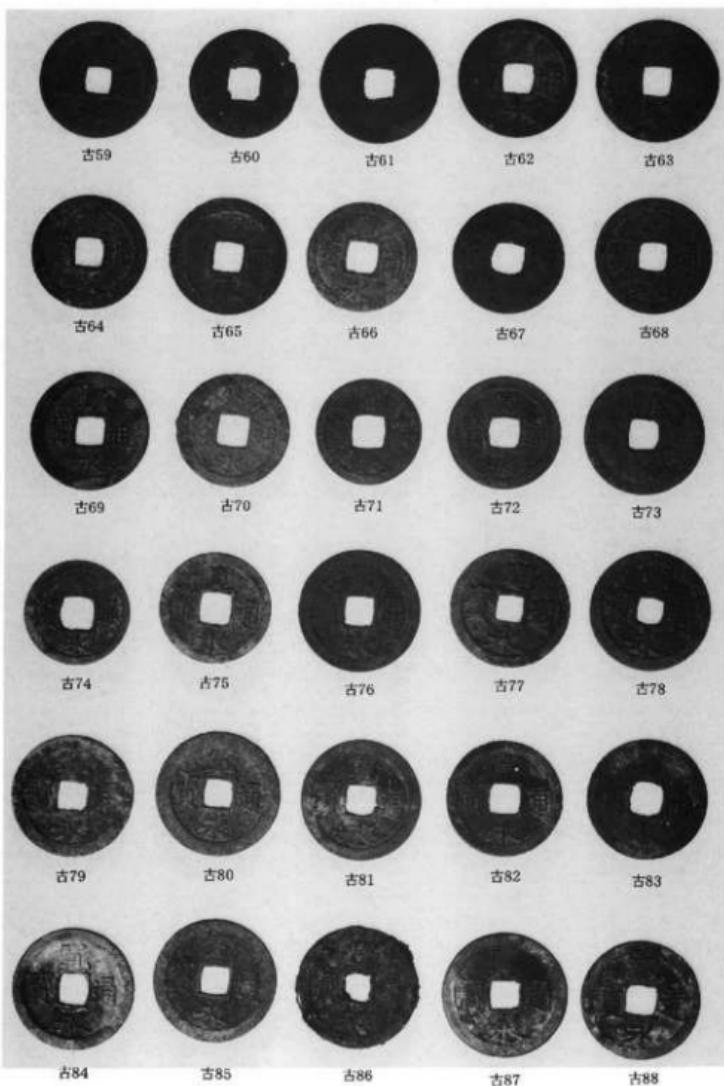


古28

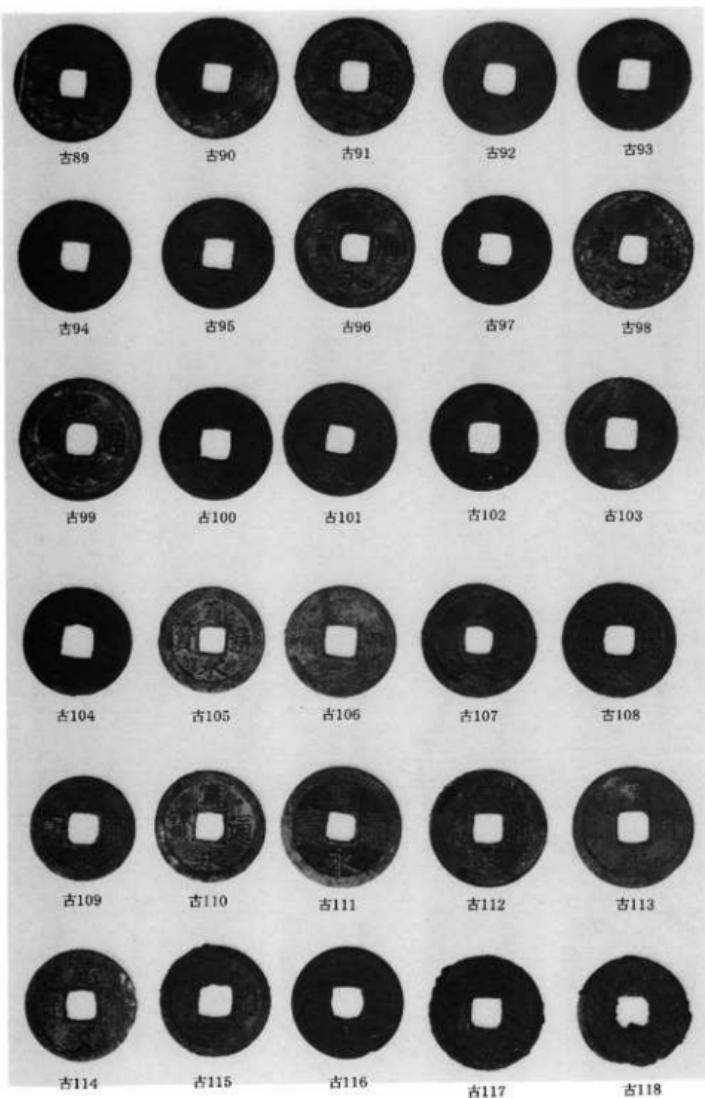
出土古钱 (1:1)



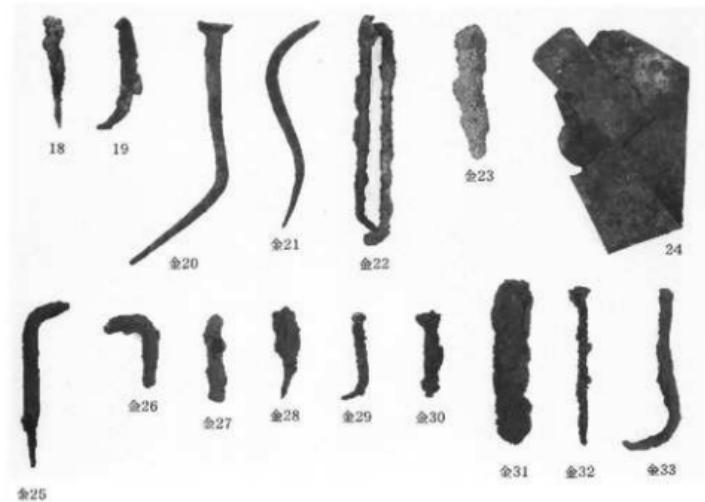
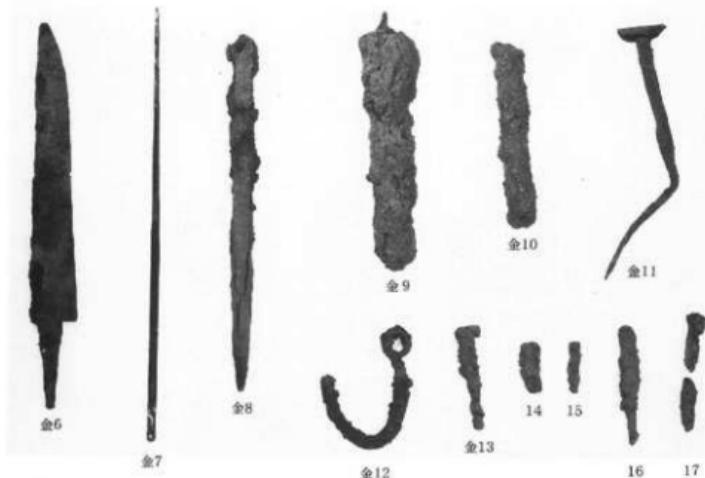
出土古錢 (1:1)



出土古錢 (1:1)

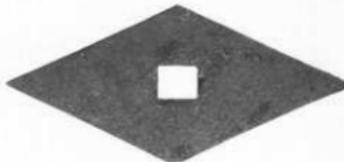
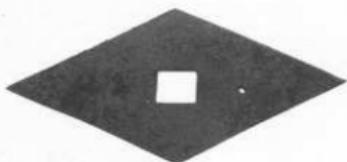
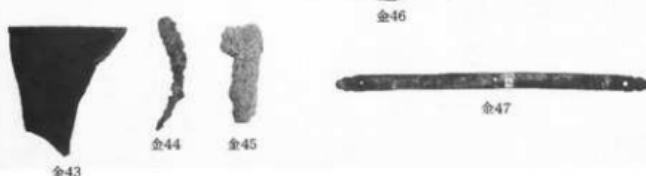
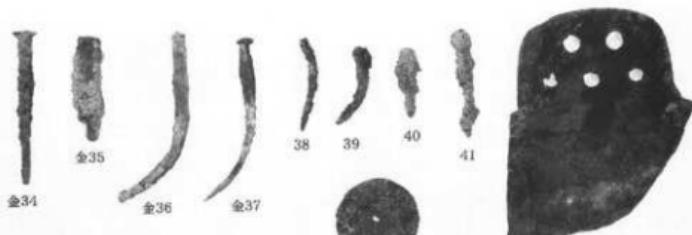


出土古錢 (1:1)

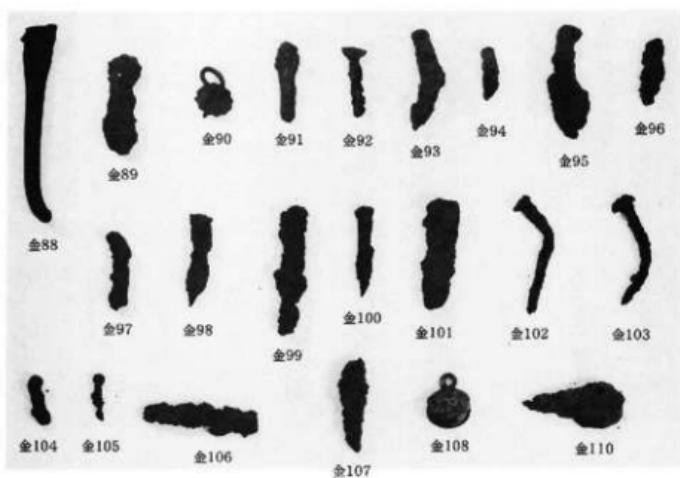
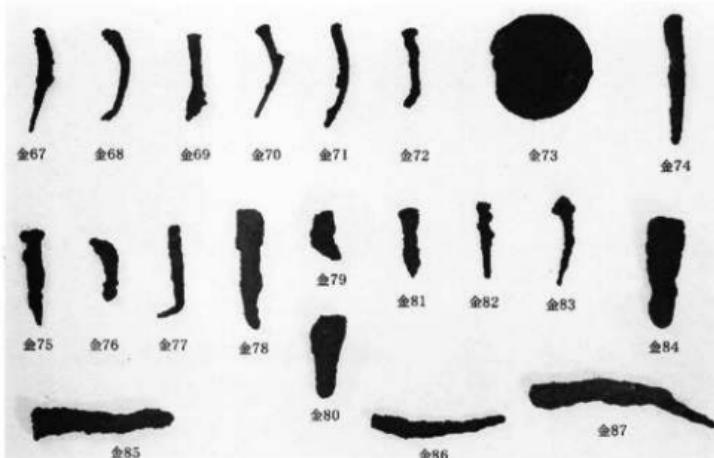


金25

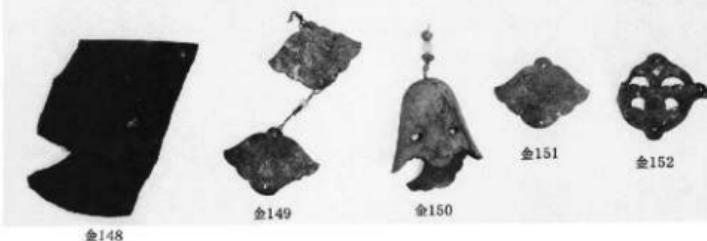
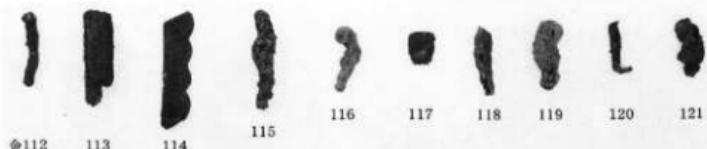
出土金属制品 (1:2)



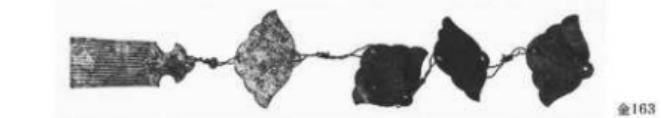
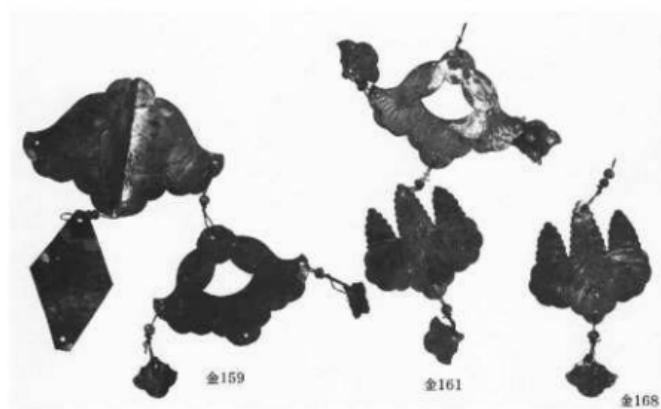
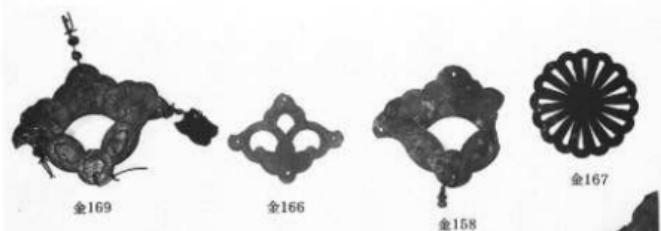
出土金屬製品 (1:2)



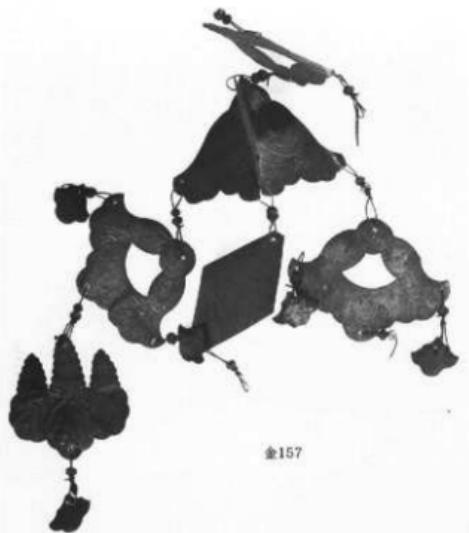
出土金属製品 (1:2), (212のみ1/3)



出土金属製品 (1:2)



出土金器制品 (1:2)



金157



金173



金162



金172



金146



金171



金147



金211



出土金属製品 (157・162は1/2, 他は1/3)

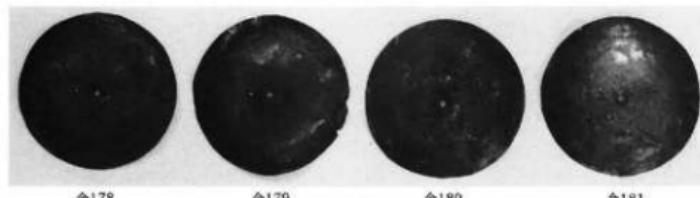


金174

金175

金176

金177

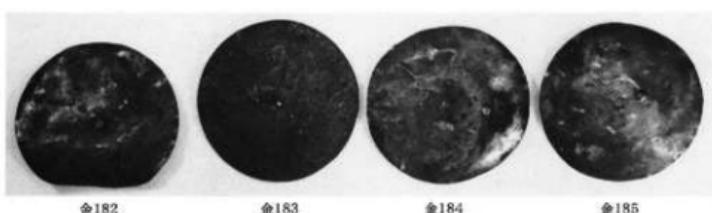


金178

金179

金180

金181



金182

金183

金184

金185



金186

金187

金188

金189



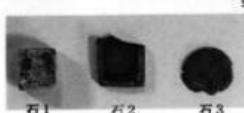
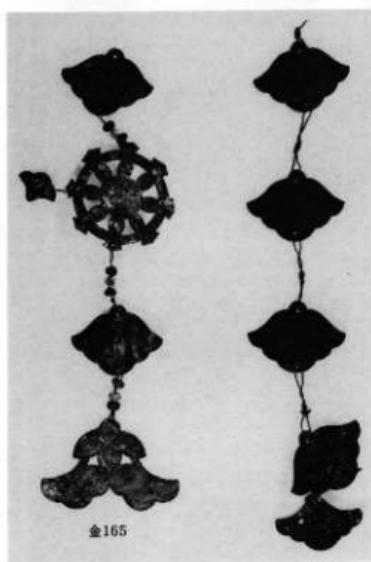
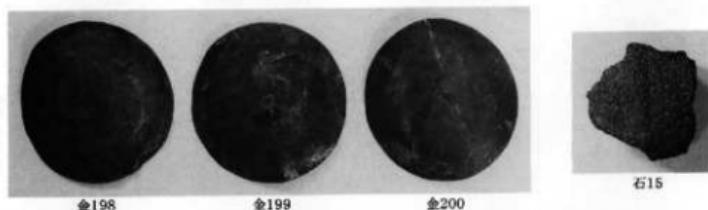
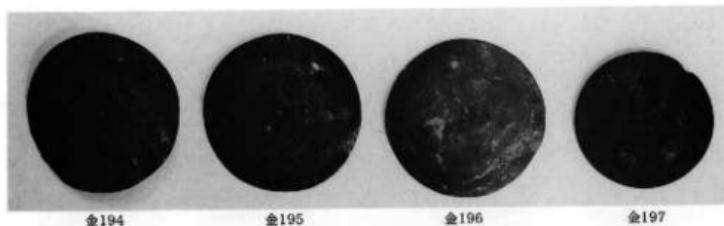
金190

金191

金192

金193

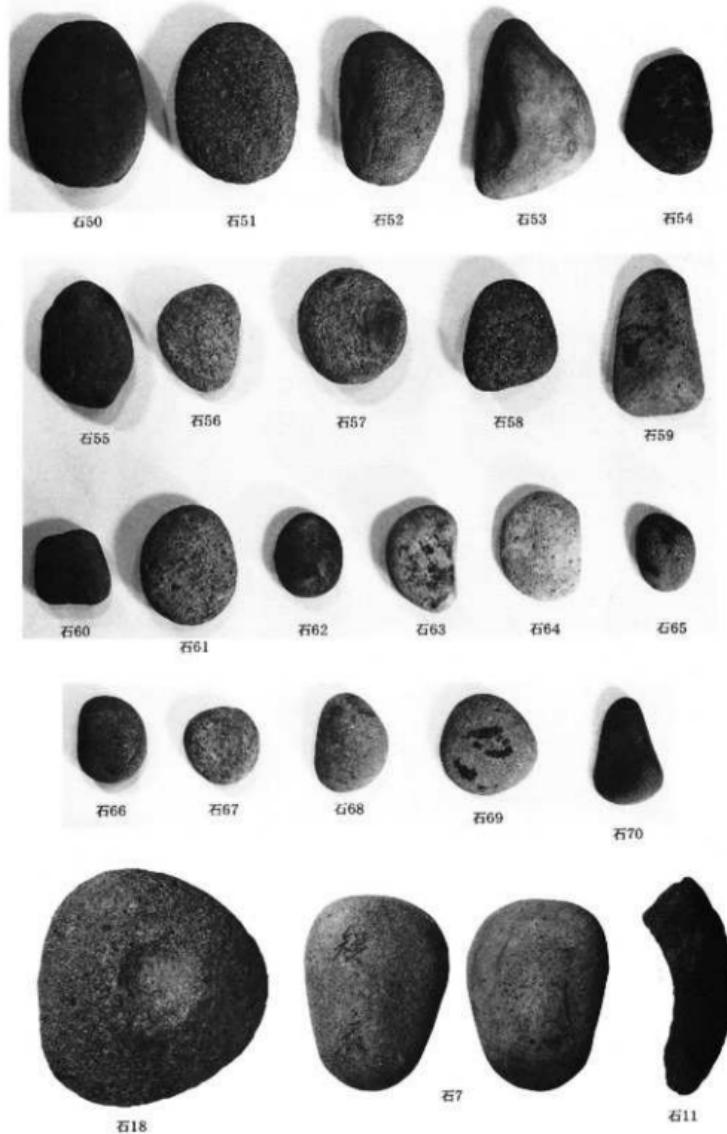
出土金屬製品 (1:2)



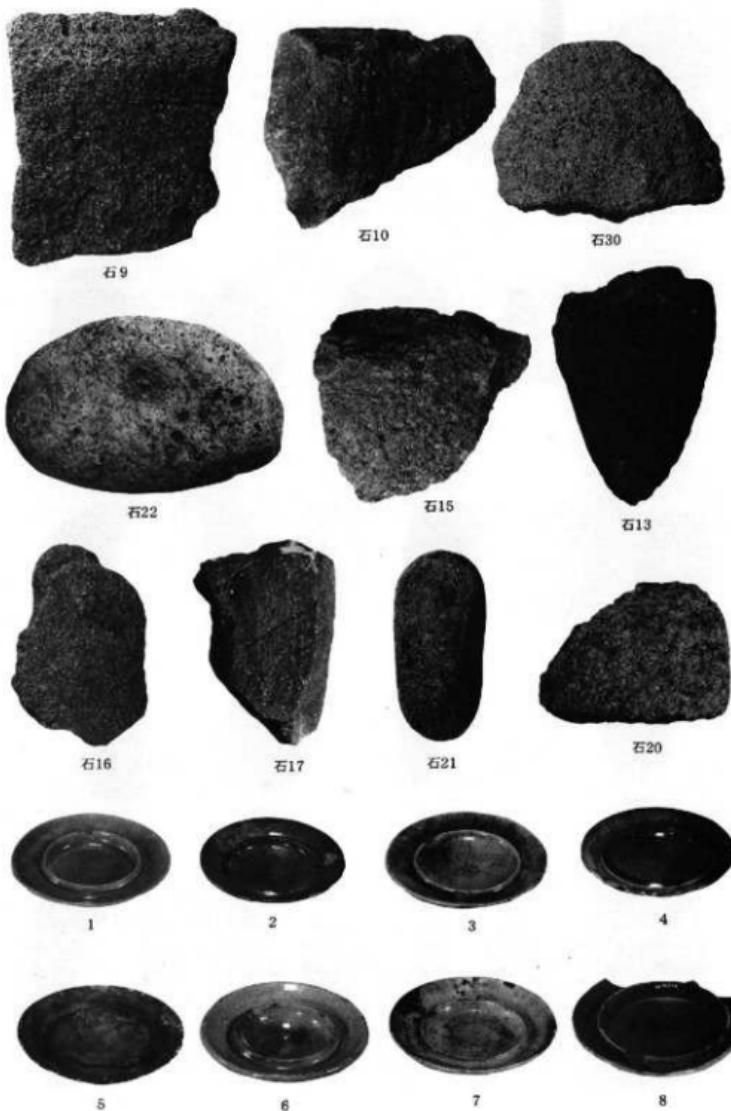
出土金属製品・石製品（石6のみ1/3、他は1/2）



出土石製品 (1:3)



出土石製品 (1 : 3)



出土石製品・陶器 (1:3)



出土陶器 (1 : 3)



58



57



59



60



61



62



66



67



64



68



69



70



71



75



76



72

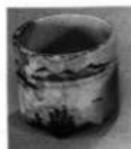


74



73

出土陶磁器 (71~74は1/4, 他は1/3)



77



78



79



80



83



84



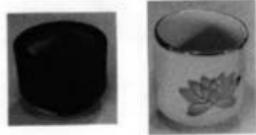
82



81



近現代磁器碗



近現代磁器碗



近現代花瓶



现代瓶子



輪荷人形



人形



现代磁器碗

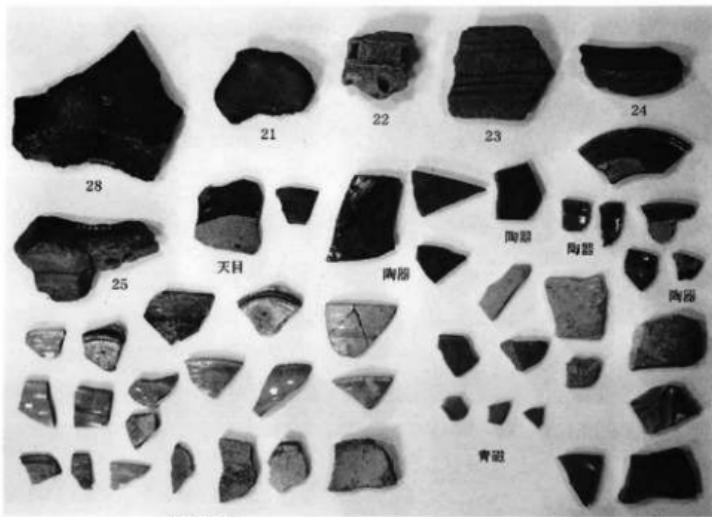


銅製香炉



鉄製銚子

出土陶磁器等 (下段香炉・銚子は 1/4, 他は 1/3)

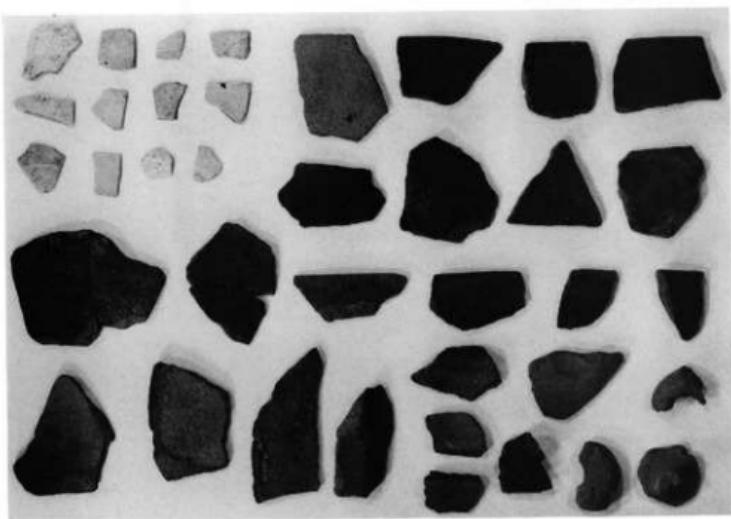


瀬戸系陶器

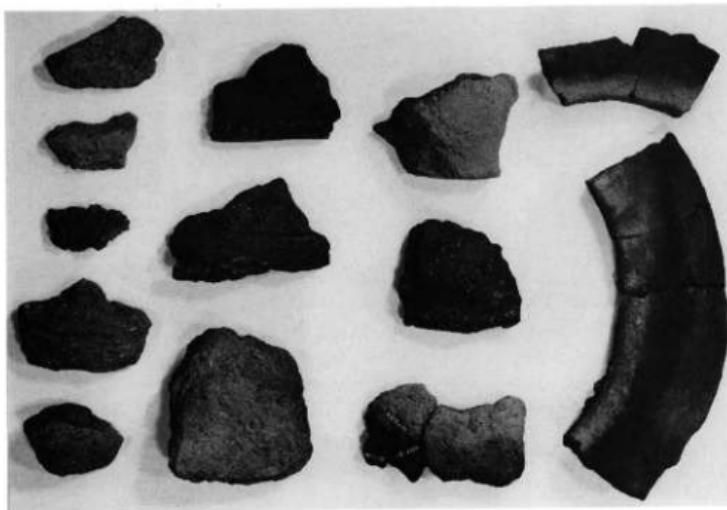
出土中近世陶磁器 (1:3)



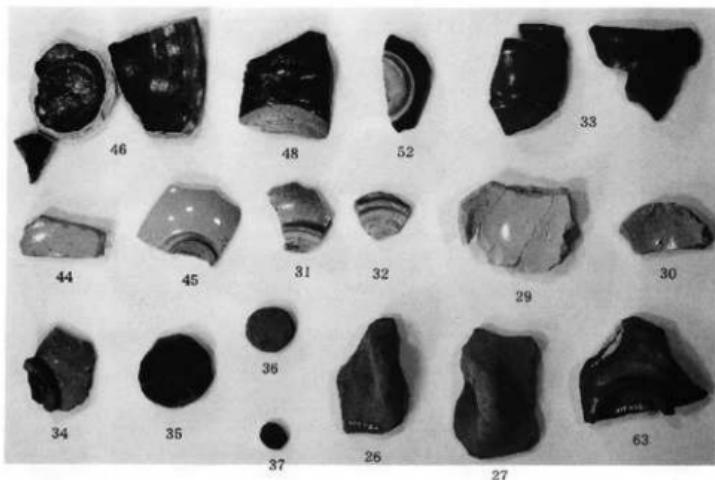
出土瀬戸系陶器 (左下)・土師質土器 (1:3)



出土土質土器（左上白色）・土鍋 1:3



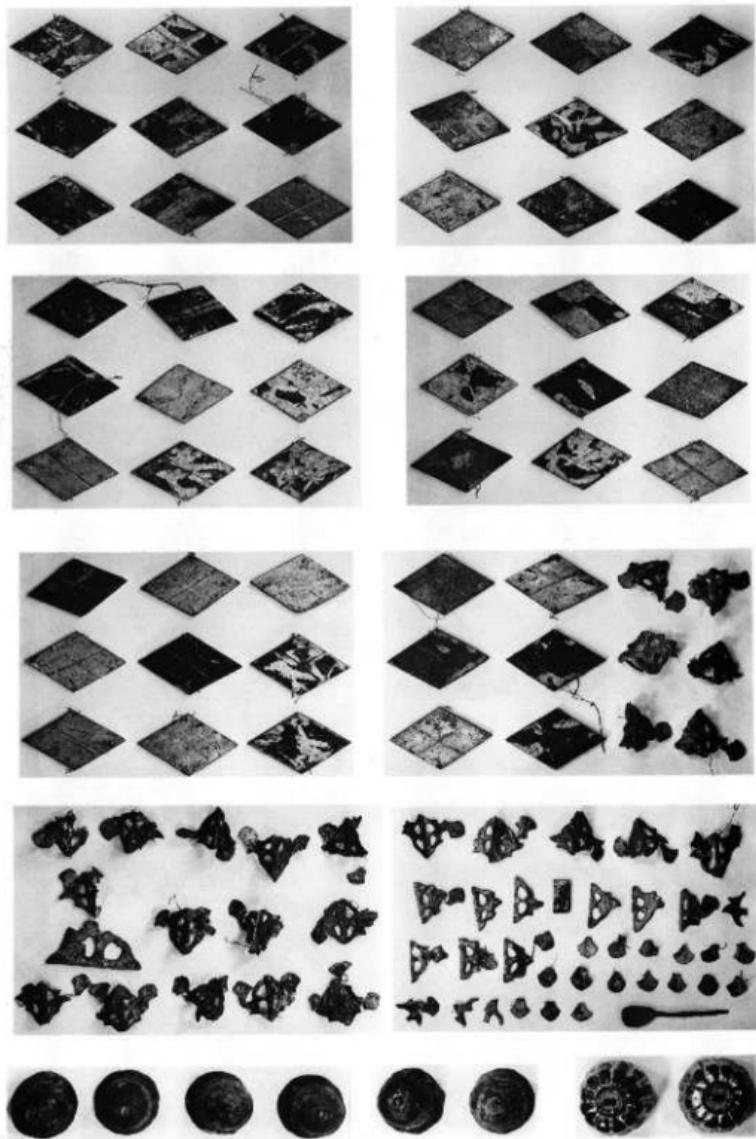
出土鍛冶関連遺物（坩堝等、1:3）



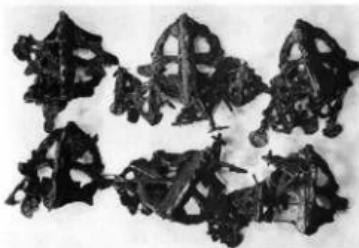
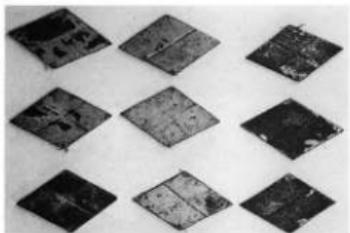
出土中近世陶磁器 (1:3)



出土近世～現代陶器 (手培・炬焼・行火など, 1:3)



天盖·伞盖部品 (1:8)



天盖・傘蓋部品 (1:6)

天蓋・傘蓋部品 (1:6)



台座 (1:8)



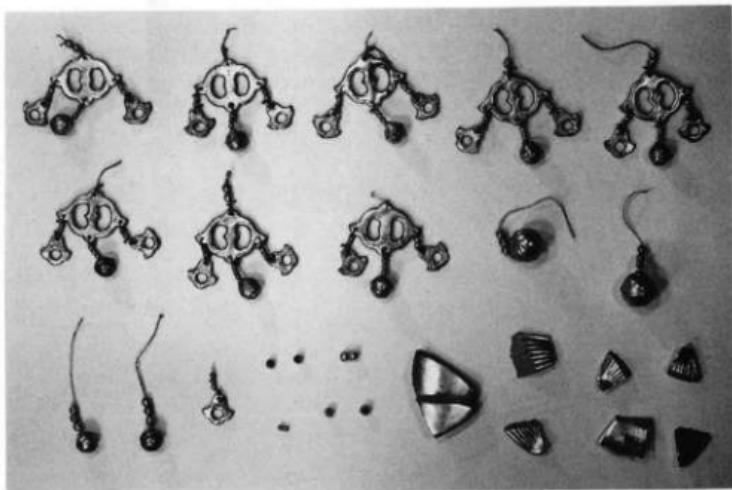
茶托 (1:8)



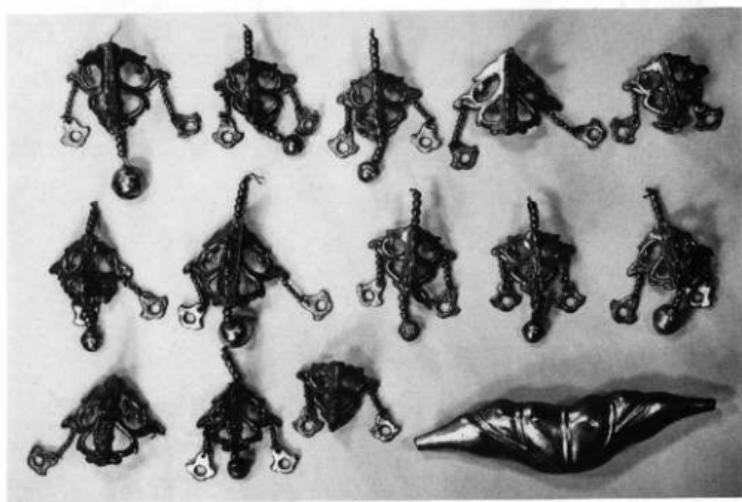
高杯 (1:8)



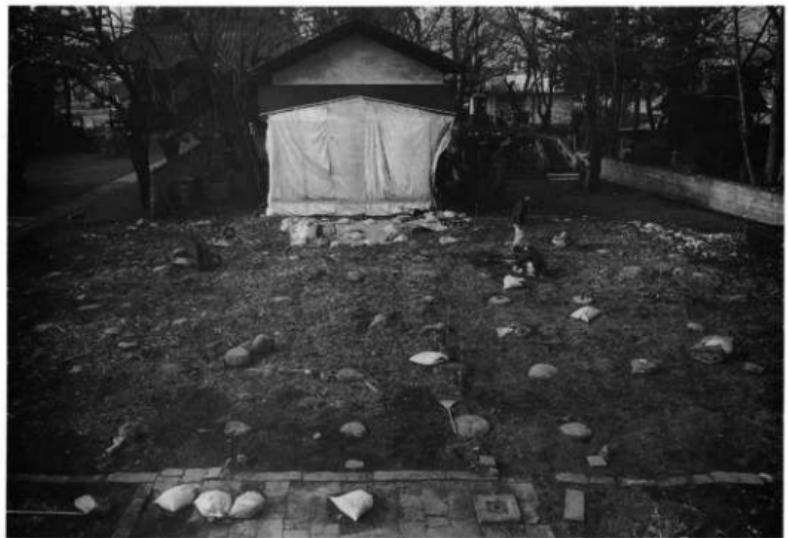
台 (1:8)



天蓋・傘蓋部品 (1:3)



天蓋・傘蓋部品 (1:3)



礎石表出作業（南より）



礎石全景（南より）



内陣・外陣礎石（南より）



本堂北側礎石（東より）



礫石西側（南方より）



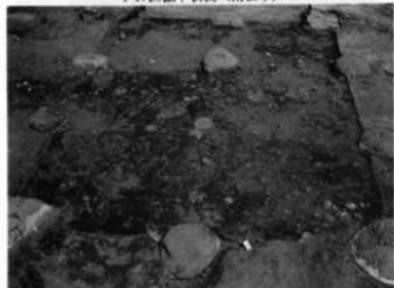
礫石東側（南方より）



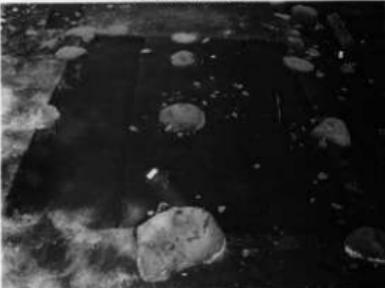
F IV区掘下状況（南より）



F III区掘下状況（南より）



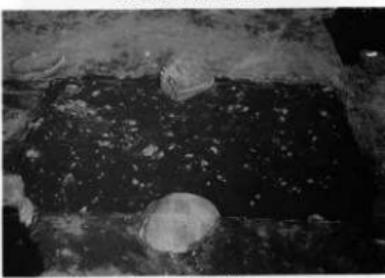
B IV区掘下状況（南より）



B II区掘下状況（南より）



C III区掘下状況



E III区掘下状況



内陣北側主柱礎石（S88）



内陣北側主柱礎石（S90）